

平成 27 年度

事 業 報 告 書

決 算 報 告 書

公益財団法人 広島市みどり生きもの協会

目 次

第1 事業報告書

1	設立目的及び概況	1
2	役員等の状況	2
3	理事会等の開催	4
4	定款の変更	4
5	職員の状況	5
6	事業の実施状況等	6
7	事業報告の附属明細書	7 3

第2 決算報告書

1	貸借対照表	7 4
2	貸借対照表内訳表	7 6
3	正味財産増減計算書	7 7
4	正味財産増減計算書内訳表	8 1
5	財務諸表に対する注記	8 5
6	附属明細書	8 7
7	財産目録	8 8

事 業 報 告 書

第1 事業報告書

平成27年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告書 (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

緑のまちづくりの事業及び公園に関する事業を通して、ゆとりとやすらぎのある緑豊かな都市環境の形成及び市民の心身の健全な発達を図るとともに、生物多様性の保全に貢献し、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

(2) 概況

ア 設立年月日

昭和51年10月1日 財団法人広島市公園協会として設立

平成11年 4月1日 財団法人広島市動物園協会と統合

平成24年 4月1日 公益財団法人へ移行し、公益財団法人広島市みどり生きもの協会に名称変更

イ 基本財産

設立当初、基本財産は1,000万円（全額広島市出資）であったが、平成11年4月1日財団法人広島市動物園協会との統合に伴い、同財団から1,200万円を寄附受領し、また、広島市から9,000万円の追加出資があったことにより、現在の基本財産は、1億1,200万円（うち広島市出資1億円）である。

ウ 実施事業

- (ア) 緑化思想の普及啓発、民有地の緑化等緑のまちづくりの推進
- (イ) 広島市が設置する公園及び公園施設の管理運営及び利用の促進
- (ウ) 広島市が設置する動物公園、植物公園及び昆虫館の管理運営及び利用の促進
- (エ) 生きものに関する調査研究、教育及び普及啓発
- (オ) 前各号に関する附帯事業の運営
- (カ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の人数

理 事 長	1 人
専務理事	1 人
常務理事	2 人
理 事	1 1 人
監 事	2 人
評 議 員	1 2 人

(2) 理事・監事

ア 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏名	異動内容
平成27年 4月 1日	専務理事	栗原 廣行	役職変更
	常務理事	増川 一幸	辞任
	常務理事	佐名田 敬莊	就任
	常務理事	南 心司	就任
平成27年 6月 10日	理 事	西田 志都枝	退任
	専務理事	栗原 廣行	重任
	常務理事	佐名田 敬莊	重任
	理 事	石田 源次郎	重任
	理 事	岩崎 誠	重任
	理 事	打越 勲	重任
	理 事	垣内田 攻樹	重任
	理 事	児玉 吾郎	重任
	理 事	中越 信和	重任
	理 事	中原 裕子	就任
	理 事	舛井 秀雄	重任
	理 事	益淵 正典	重任
	理 事	松本 幸雄	重任
	理 事	渡邊 一雄	重任
	監 事	神田 敏治	重任
平成27年 6月 30日	理 事 長	荒本 徹哉	辞任
平成27年 7月 1日	理 事 長	竹内 功	就任
平成28年 3月 31日	専務理事	栗原 廣行	辞任
	監 事	手島 健志	辞任

イ 平成28年3月31日現在の理事・監事は、次のとおりである。

役職	氏名	就任年月日
理事長	竹内 功	平成27年 7月 1日
専務理事	栗原 廣行	平成23年 4月 1日
常務理事	佐名田 敬莊	平成27年 4月 1日
常務理事	南 心司	平成27年 4月 1日
理事	石田 源次郎	平成24年 4月 1日
理事	岩崎 誠	平成22年 3月 1日
理事	打越 紘	平成17年 7月 1日
理事	垣内田 攻樹	平成19年 7月 1日
理事	児玉 吾郎	平成27年 3月 27日
理事	中越 信和	平成17年 7月 1日
理事	中原 裕子	平成27年 6月 10日
理事	舛井 秀雄	平成17年 7月 1日
理事	益淵 正典	平成21年 7月 1日
理事	松本 幸雄	平成21年 7月 1日
理事	渡邊 一雄	平成17年 7月 1日
監事	神田 敏治	平成19年 7月 1日
監事	手島 健志	平成24年 4月 1日

(3) 評議員

ア 事業年度中の評議員の異動はなし。

イ 平成28年3月31日現在の評議員は、次のとおりである。

役職	氏名	就任年月日
評議員	尾楠 美代子	平成26年 3月 27日
評議員	小野 寛	平成24年 4月 1日
評議員	真宅 成光	平成24年 4月 1日
評議員	鈴木 榮子	平成24年 4月 1日
評議員	竹澤 寿幸	平成25年 8月 1日
評議員	寺内 優	平成25年 6月 10日
評議員	中島 昌子	平成24年 4月 1日
評議員	中島 保廣	平成24年 4月 1日
評議員	中坪 孝之	平成24年 4月 1日
評議員	林 哲治	平成27年 3月 27日
評議員	藤井 敏男	平成24年 4月 1日
評議員	松上 三智	平成24年 4月 1日

3 理事会等の開催

(1) 理事会

開催年月日	開催回数	付 議 事 項	審議結果
平成27年 5月26日	平成27年度 第 1 回	1 平成26年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告及び決算報告について 2 理事長、専務理事及び常務理事の自己の職務の執行状況の報告について 3 平成26年度における職員の職務に係る倫理の保持に関する状況及び職員の職務に係る倫理の保持に関する講じた施策に関する報告について	承 認 終 了 終 了
平成27年 6月10日 (決議の省略)	平成27年度 第 2 回	1 専務理事の選定の決議について 2 常務理事の選定の決議について	選 定 選 定
平成27年 7月 1日 (決議の省略)	平成27年度 第 3 回	1 理事長の選定の決議について	選 定
平成28年 3月10日 (決議の省略)	平成27年度 第 4 回	1 平成27年度第3回評議員会の招集について	原案可決
平成28年 3月28日	平成27年度 第 5 回	1 特定費用準備資金取扱規程の制定について 2 特定費用準備資金の保有について 3 平成28年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業計画及び予算について 4 平成28年度第1回評議員会の招集について 5 公益財団法人広島市みどり生きもの協会定款第28条第2項に定める役員の選定の決議について 6 理事長、専務理事及び常務理事の自己の職務の執行状況の報告について	承 認 承 認 承 認 原案可決 選 定 終 了

(2) 評議員会

開催年月日	開催回数	付 議 事 項	審議結果
平成27年 6月10日	平成27年度 第 1 回	1 平成26年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会決算報告について 2 理事の選任の決議について 3 監事の選任の決議について 4 平成26年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告について	承 認 選 任 選 任 終 了
平成27年 6月30日 (決議の省略)	平成27年度 第 2 回	1 理事の選任の決議について	選 任
平成28年 3月28日	平成27年度 第 3 回	1 公益財団法人広島市みどり生きもの協会定款第28条第1項に定める役員の選任の決議について	選 任

4 定款の変更

事業年度中の定款の変更はなし。

5 職員の状況

平成28年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。

(単位：人)

区分		事務職員						技術職員						技能業務職員	非常勤職員	合計	
		部長級	課長級	課長補佐級	係長級	主事	小計	部長級	課長級	課長補佐級	係長級	技師	小計				
緑化管理部	経営企画課		2	1	3	2	8						3	3	1	3	15
	昆虫館					1	1		1	1	2	2	6	1	1		9
動物公園	管理課		1		3	4	8					1	3	4	3	17	32
	飼育・展示課								1	1	5	21	28		2		30
植物公園	管理課		1	1	2	3	7	1			1	2	1	5	1	1	14
	栽培・展示課								1	1	5	4	11		7		18
合計			4	2	8	10	24	1	3	4	15	34	57	6	31		118

6 事業の実施状況等

(1) 事業の実施状況

次の事業を実施した。

① 公益目的事業

ア 緑のまちづくり [公1事業]

緑化思想の普及、啓発を図るとともに、市民の自主的な緑化活動を促進し、市民の生活にゆとりと安らぎを与え、健やかで潤いのある緑豊かな住みよいまちづくりを進めるため、次のとおり事業を実施した。

(ア) 緑化思想の普及啓発

a グリーンフェア

名 称	実施期間	場所	内 容	入場者数
春のグリーンフェア	27年4月17日 ～27年4月26日	中央公園 自由広場	広島市等と実行委員会を組織し、入口ゲートの花飾り、モデル庭園などの展示及び花市・植木市などを行った。	約 54,000 人
秋のグリーンフェア	27年10月3日 ～27年10月12日	植物公園	広島市等と実行委員会を組織し、植物ふれあいオリエンテーリングや花と緑の講習会などを行った。	17,288 人

b 広報普及

名 称	実施期間	内 容	件 数
インターネット・ ホームページ広報 (72ページの収益事業等に重複記載)	通 年	インターネットを通じて、事業の紹介や催し物などの情報を提供した。	アクセス件数 150,726 件
マスコミ広報	通 年	新聞社を通じて、催し物などの情報を提供した。	10 件

c 出版物の配布

名 称	実施期間	内 容	発行部数
ハンドブック 「緑のカーテンをつくろう」	通 年	緑のカーテンの作り方やその効果を紹介したハンドブックを配布し、緑化意識の普及、啓発を図った。	2,500 部

(イ) 民有地緑化の推進

a 緑化講習会の開催

名 称	実 施 日	場 所	内 容	参加者数
苗木の植え方・育て方	27年10月3日	植物公園 (秋のグリーンフェア)	記念樹緑化事業における苗木の配付に合わせ、苗木の植え方や育て方を指導した。	26人
クリスマスに ぴったりな寄せ植え	27年11月20日	中央公園 ファミリープール	ガーデンシクラメン、ポインセチア、ヒイラギ等を使用した、クリスマスにぴったりな寄せ植えの作り方を実演指導した。	29人
新春を迎える 寄せ植え	27年12月9日	中央公園 ファミリープール	梅、センリョウ、シクラメン、福寿草のほか、石材、コケなどを使用した、新春らしい寄せ植えの作り方を実演指導した。	30人
緑のカーテンを 楽しもう	28年3月4日	中央公園 ファミリープール	当協会が作製した緑のハンドブックをテキストとして、緑のカーテンに利用できる植物の栽培方法及び育成方法等を指導した。	15人

b 緑のカーテン設置補助金などの交付 [緑化基金事業]

名 称	実施期間	内 容	交付件数等	
			件数	金 額
緑のカーテン設置 補 助 金 の 交 付	27年4月6日 ～27年5月8日	緑のカーテンの設置に要した費用の一部を補助金として交付した。	63 件	334,800 円
魅せる花づくり 補 助 金 の 交 付	27年5月1日 ～27年6月5日 27年9月1日 ～27年10月2日	民有地内で多くの人の目に触れる場所(道路に面した場所)において花づくりを行った費用の一部を補助金として交付した。	38 件	239,200 円
記念樹の贈呈	27年7月17日 ～27年8月31日	誕生、入学・卒業、成人、結婚など人生の記念の節目を迎えた者に記念樹(苗木)を贈呈した。	214 件	463,104 円
民間建築物等緑化 事業補助金の交付	—	ホームページなどで制度の案内を行ったが、交付申請がなかった。	0 件	—

c　緑化指導者の派遣〔緑化基金事業〕

名 称	実施期間	内 容	参加者数等
講習会への緑化指導者の派遣	通 年	草花の寄せ植え、育て方などを指導した。	開催回数 15回 参加者数 343人

(ウ) 貢献者の表彰〔みどり生きもの協会賞基金事業〕

本事業は、広島市みどり生きもの協会賞基金の運用益等をもって、広島市みどり生きもの協会賞、広島市みどり生きもの協会奨励賞を贈呈するものであるが、平成27年度は候補者がいなかった。

イ 動物公園の管理運営 [公2事業]

広島市から指定（期間：平成26年4月1日～平成30年3月31日）を受けた広島市安佐動物公園における動物の飼育・展示、収集及び飼育管理、入園料の収受、施設の維持管理などを行い、入園者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れやコンクールその他催し物の開催など各種事業を実施し、動物に関する知識及び動物愛護思想の普及、かん養並びに動物愛好者の育成を図った。

(ア) 動物の飼育・展示など

a 動物の飼育・展示

[展示場所等] 主な展示動物	内 容
[エントランスゾーン] アヌビスヒヒ、 フラミンゴなど	ヒヒ山では、放水清掃により展示場を清潔に保つとともに、「まいにち動物解説」を実施した。アヌビスヒヒについては、約50頭の雄雌と子どもを飼育・展示することにより、アフリカのコピエに生息する群れの状態を再現した。フラミンゴ池では、平成26年6月に続き、平成27年6月にもオオフラミンゴが産まれ、順調に成育している。
[アフリカゾーンⅠ] アフリカゾウ、 アミメキリン、 グラントシマウマなど	アフリカゾウについては、雌（愛称：アイ）の発情時期に合わせて、平成27年4月、6月、9月の3回にわたり、雄（愛称：タカ）と同居させ、交尾を確認した。アミメキリンについては、平成27年6月に、雄（愛称：アキヨシ）が事故により死亡したが、死亡前に雌（愛称：キリコ）との交尾を確認しており、平成28年3月には子どもが産まれた。グラントシマウマについては、平成27年2月から8月にかけて産まれた5頭が順調に成育している。
[アフリカゾーンⅡ] チーター、クロサイ、 ミーアキャットなど	チーターについては、繁殖に向け、雌の発情に合わせて、雄との同居を試みている。クロサイについては、平成24年に産まれた雌（愛称：ユキ）が順調に成育している。ライノテラスでの「まいにち動物解説」は日々実施しており、多くの来園者に情報を発信している。アフリカスイギュウについては、平成26年に産まれた雄（愛称：サンバ）が順調に成育しており、放出を検討する時期に来ている。ミーアキャットは10頭以上の群展示を行い、穴掘りや日光を浴びて立つ姿を見せた。

[展示場所等] 主な展示動物	内 容
[サルのなかま] チンパンジー、 マンドリルなど	チンパンジーについては、木の枝を道具として使って中にある蜂蜜をなめとる人工アリ塚を、寄附金により設置し、エンリッヂメント（動物福祉）を強化した。また、マンドリル、ダイアナモンキーなど多様なサル類を展示し、その能力、形態、行動についてヒトとの違いを学べるよう、「まいにち動物解説」を実施したほか、枯葉や遊戯木を追加し獣舎内の環境改善を行った。平成26年7月に導入したマンドリルについては、妊娠の兆候を確認した。
[パーちくパーク] ポニー、テンジクネズミ、 ウサギ、ブタなど	ヤギ、ヒツジ、ミニブタなどと自由にふれあえる広場を入園者に提供するとともに、ポニーの乗馬体験や、テンジクネズミとのふれあい体験を実施して動物の温もりを伝え、動物を愛護する情操のかん養を図った。ヒワコンゴウインコが順調に繁殖し、3羽が育っている。子育ての家ではオオサンショウウオの卵・幼生・成体を展示した。
[はちゅう類館] ワニ、ヘビ、 コウモリ、ムササビなど	活発に動き回る夜行性動物の姿を観察できるよう、照明を暗くした1階には、コウモリやムササビなどを展示し、2階には、ワニやヘビなどの爬虫類のほか、特別天然記念物オオサンショウウオを展示した。 平成27年11月にモモンガの雌を導入し、繁殖を試みたところ、平成28年3月には、無事に成育している子ども3頭を確認した。
[アジアの草食動物] マレーバク、 ブラックバックなど	マレーバクについては、妊娠を確認した。ブラックバックについては、順調に繁殖しており、群れ展示を継続した。キヨンについては、将来の整備計画を見据えて、繁殖制限に取り組んだ。
[日本の動物] ツキノワグマ、 キツネなど	自然と人間との関わりを考えるために、ツキノワグマ、キツネ、タヌキ、アナグマ、イノシシなど国内に生息する身近な動物を展示した。タヌキについては、平成27年5月に子ども3頭が産まれ、無事に成育している。
[大鳥舎] オシドリ、バンなど	オシドリの生息地である森林の河川や、マガモ・シジュウカラガンなどの生息地である開けた湿地・湖沼に似せた環境で、水鳥を展示した。
[西園] レッサーパンダ、 シロフクロウなど	レッサーパンダについては、平成27年6月に子どもが産まれ順調に成育している。シフゾウについては、雌の発情に合わせて、平成27年12月に同居を行い、交尾を確認した。コウノトリについては、平成27年6月に2羽が孵化し順調に成育している。

[展示場所等] 主な展示動物	内 容
<p>[肉食動物ゾーン]</p> <p>ライオン、 トラ、ヒョウなど</p>	<p>ライオンについては、土・日・祝日に、強化ガラス（レオガラス）前で「お食事タイム」を実施した。アムールヒョウ、アムールトラについては、強化ガラス（パンセラビュー）により、迫力や威圧感が伝わる展示を行った。また、血統の偏りを防ぐため、動物交換とブリーディングローンを利用して、高齢のアムールヒョウの雄（愛称：ベル）を平成27年11月に徳山動物園に譲り渡すとともに、平成27年12月に福山動物園から同じくアムールヒョウの雄（愛称：アニユイ）を借り受け、雌（愛称：チャイム）との相性確認を行った。なお、アムールトラの雄（愛称：バイコフ）が老衰のため、平成28年3月に死亡した。</p>

【動物の飼育展示数】

(平成28年3月31日現在)

区 分	種 類	点 数
哺 乳 類	62 種	708 点
鳥 類	48 種	546 点
爬 虫 類	33 種	233 点
両 生 類	7 種	132 点
魚 類	10 種	1,576 点
合 計	160 種	3,195 点

b 動物の収集及び飼育管理

名 称	内 容
展示動物の維持及び種の保存	血統や余剰動物の管理を適切に行うため、計画的な繁殖、ブリーディングローンなどにより、展示動物を適正に維持した。また、希少種であるコウノトリやレッサーパンダの繁殖、グラントシマウマの順調な繁殖と他園への譲り渡し、アムールヒョウの入替による近交弱勢の防止など、種の保存に貢献した。
飼育下繁殖	レッサーパンダ、エリマキキツネザル、モモンガ、コウノトリ、オオフラミンゴ、ヒワコンゴウインコ、オオサンショウウオ、ナゴヤダルマガエルなど、絶滅危惧種や希少種とされている野生動物の繁殖を飼育下で行った。
ブリーディングローン	所有権を移転することなく、他園と動物の貸出しや借り入れを行い、繁殖を効率的かつ効果的に行った。 借り入れ：哺乳類 20頭、鳥類 10羽、爬虫類 1頭 貸出し：哺乳類 10頭、鳥類 19羽、爬虫類 0頭
動物交換	新しい血統の確保や飼育動物の数量調整、新規動物の導入を目的として、不足動物を譲り受ける一方、余剰動物を譲り渡すことにより、近交弱勢の防止や飼育環境の向上、動物公園の魅力アップを図った。 譲受け：モモアカノスリ、ジャンボウサギなど 譲渡し：ルリコンゴウインコ、ポールパイソン、コロンビアレインボーボア、ヒョウモンガメ、アフリカヤマネなど
血統登録・血統管理	優良な種の保存のため、全国の園館の血統登録台帳を活用するとともに他園と情報を共有して、血統を管理することにより血縁の偏りを防いだ。
動物の飼育管理及び展示環境の改善	園内で飼育・展示する動物が健康で生き生きと過ごせるよう、適切な飼育管理、展示環境の改善を行った。
飼育管理	健康状態を良好に保つため、衛生的かつ栄養学的に適切な飼料の配合や給餌、必要に応じた診察や治療、飼育舎の衛生管理を行った。
展示環境の改善 (環境エンリッチメントの強化)	生息地の自然環境を考慮し、野生動物が本来持つ行動を引き出すため、チンパンジー舎に人工アリ塚を設置したほか、マンドリルなどを飼育しているサル舎に渡り木を設置するなど展示環境に工夫を加えた。

c 入園料の収受（利用料金制）

【入園状況】

区分					入園者数	使用料	
有料入園者	個人	大人	18歳以上 65歳未満	510円	191,494人	97,661,940円	
			65歳以上	170円	12,325人	2,095,250円	
			小人 18歳未満(小・中学生を除く)	170円	3,408人	579,360円	
	年間パスポート	大人	18歳以上 65歳未満	1,540円	8,728人	13,441,120円	
			65歳以上	510円	565人	288,150円	
			小人 18歳未満(小・中学生を除く)	510円	8人	4,080円	
	提示	大人	18歳以上 65歳未満	—	31,584人	—円	
			65歳以上	—	1,988人	—円	
			小人 18歳未満(小・中学生を除く)	—	22人	—円	
	団体		大人 18歳以上 65歳未満	430円	12,795人	5,501,850円	
			65歳以上	130円	362人	47,060円	
			小人 18歳未満(小・中学生を除く)	130円	3,291人	427,830円	
優待割引	個人	大人	18歳以上 65歳未満	430円	1,275人	548,250円	
			65歳以上	130円	61人	7,930円	
			小人 18歳未満(小・中学生を除く)	130円	7人	910円	
	年間パスポート	購入	大人 新成人	510円	43人	21,930円	
	提示	大人	新成人	—	7人	—円	
小計					267,963人	120,625,660円	
減免等入園者（小・中学生、社会福祉施設、その他）					259,019人	0円	
合計					526,982人	120,625,660円	

d 利用促進

名称	実施期間	内 容	枚数等
「ポニー一体験乗馬」 ポイントカードの発行	通 年	毎週土・日曜日、祝日に行うポニーの 体験乗馬参加者にポイントカードを 配付し、利用回数に応じた特典を設け、 リピーターの確保を図った。	ポイントカード配付枚数 6,039枚 特典供与人数 延べ 388人
年間パスポートの販売 (動物公園・植物公園・ 昆虫館 共同事業)	通 年	より多くの方に動物公園の魅力に触れる 機会を提供するため、植物公園・昆虫館と 共通で利用できる年間パスポートを販売 し、利用者に対するサービスの向上及び リピーターの確保を図った。	販売枚数 9,344枚

名 称	実施期間（日）	内 容	入園者数等
優待利用券の販売	通 年	企業や団体の福利厚生や景品などへの利用を目的に優待利用券(入園券引換券+飲み物引換券)を販売し、新たな入園者の獲得に努めた。	販売冊数 大人(65歳未満) 72 冊
交通科学館との相互利用促進 (広島高速交通㈱共同事業)	通 年	近隣施設の交通科学館と協力して、相手施設の使用済の観覧券又は入園券提示者に団体割引料金を適用し、さらなる利用者獲得を図った。	1,113 人
公共交通機関利用者への特典付与	通 年	駐車場不足による渋滞対策として、路線バスやアストラムラインを利用して来園した者に対し、売店、食堂等の商品割引サービスを行い、公共交通機関利用による来園を促進した。	1,809 人
アニマルカードの進呈	通 年	天候不順日の来園者に、動物公園オリジナルアニマルカードを進呈し、さらなる顧客の獲得に努めた。	9,776 枚
電動カートの運行	通 年	土・日・祝日に、勾配の急な西園等への移動手段として、電動カートを運行し、入園者サービスの向上を図った。	13,537 人
広島～松江線高速バス利用者への特典付与 (広島電鉄㈱共同事業)	27年 4月1日 ～27年 9月30日	広島電鉄㈱が配付した「広島エリアフレーチケット」を利用して来園した高速バス利用者(松江市→広島市)に対し、売店、食堂等の商品割引サービスを行い、山陰方面からの来園を促進した。	172 人
休園日の開園	27年 4月 2日 27年 4月30日 27年 8月 5日 27年 8月13日 27年10月 1日 27年10月 8日 27年10月15日 27年10月22日 27年10月29日 28年 1月 1日 28年 2月10日 28年 3月31日	春休み、ゴールデンウィーク期間中、お盆、10月の休園日、元日及び祝日と重なる場合の前日振替休園日などを開園し、利用者に対するサービスの向上及び入園者の増加を図った。	2,627 人 855 人 331 人 1,111 人 10 人 2,499 人 2,727 人 1,058 人 576 人 1,327 人 462 人 2,014 人 合計 15,597 人

名 称	実施期間（日）	内 容	入園者数等
動物公園で野点	27年 5月23日	園内で上田宗箇流による野点を開催し、動物公園の魅力を向上させ、入園者に対するサービスの向上を図った。	200人
宮島水族館との連携	27年 7月13日 ～27年11月30日	宮島水族館と連携し、合同PRイベントとスタンプラリーを実施し、より効果的な誘客活動を行った。	スタンプラリー参加者 安佐動物公園 1,065人 宮島水族館 1,371人
ミストトンネル	27年 7月17日 ～27年 9月27日	夏季の入園者増加対策として、霧のトンネルを通り抜けできる涼感コーナーを設置した。	—
施設案内看板デザイン募集・表彰 (広島市立大学、広島市共同事業)	募集 27年7月28日～ 27年10月20日 表彰 28年 3月30日	安佐動物公園までの経路沿道の賑わいづくりのために広島市が設置した施設案内看板の誘客効果が高まるよう、看板のデザインを広島市立大学芸術学部の学生から募集し、優秀作品を表彰した。	看板 5か所
夜 間 開 園 (ナイト・サファリ)	27年 8月15日 27年 8月16日 27年 8月22日 27年 8月23日 27年 8月29日 27年 8月30日 27年 9月 5日 27年 9月 6日	幻想的な雰囲気を醸し出すとともに、昼間とは異なる動物たちの生態を観察できるよう、園内のライトアップや夕暮れコンサートなどを行い、動物公園の魅力を向上させ入園者の増加を図った。	夜間入園者数 (16時以降の入園者数) 5,818人 2,907人 6,393人 4,404人 2,112人 3,365人 8,080人 1,491人 合計 34,570人
シルバー動物園	27年 9月18日 27年 9月19日 27年 9月20日 27年 9月21日 27年 9月22日 27年 9月23日	敬老の日を含むシルバーウィーク期間中に来園した65歳以上の高齢者に飲み物券をプレゼントした。	入園者数 859人 2,450人 6,904人 7,924人 7,764人 5,433人 合計 31,334人 飲み物券配布 1,100枚
安 佐 動 物 公 園 ウォーキング大会 (安佐北区役所共同事業)	27年11月14日	高齢者を対象に、動物や植物など園内の自然に親しみながら歩く、ウォーキング大会を開催した。	104人

名 称	実施期間（日）	内 容	入園者数等
動物園でしめ縄作り	27年12月23日	お正月に向け、日本の文化であるしめ縄作りを体験した。	50人
お客様感謝デーの実施	27年12月23日 28年 1月11日	日頃の利用に感謝して、閑散期である冬期の祝日2日を入園料無料の日とし、入園者サービスの向上及び入園者の増加を図った。	567人 4,703人 合計 5,270人
新成人年間バスポート割引販売	28年 1月11日 ～28年 3月31日 (予定:28年5月31日まで)	平成28年5月末を期限として65歳以上の者と同額に割引くことで20歳代のリピーターの増加を図った。	販売 提示 43人 7人
バレンタインデーは動物園でデート	28年 2月13日～ 28年 2月14日	バレンタインデーを含む週末に、独身カップルの入園者に飲み物券をプレゼントした。	配布 利用 112枚 106枚
広島駅南口地下広場柱巻案内看板の設置	28年 3月 1日～ 28年 3月31日 (予定:28年5月30日まで)	JR広島駅南口広場にある柱に、安佐動物公園行きバス乗り場までを案内する写真看板を設置し、広島駅からバスを利用する来園者の利便性の向上を図った。	柱 写真 5か所 10枚
年間入園者50万人達成記念イベント	28年 3月21日	年間入園者50万人達成を記念して、50万人目の入園者とともにくすだまを割り、記念品をプレゼントするイベントを開催した。	入園者数 7,227人
がんばれカープ カープミニ 新幹線に乗ろう	28年 3月26日	安佐動物公園の活性化を目的として、岡山・広島東洋カープから広島市に寄贈されたカープミニ新幹線を園内で運行するイベントを実施した。	600人

e 施設の維持管理・園内サービス

名 称	実施期間	内 容
施設の維持管理	通 年	入園者に安全・快適な観察環境を提供するため、園内の清掃・警備を行った。また、動物舎などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	入園者が快適に観察できるよう、標識、リーフレット（外国人向けのものを含む）や園内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
園 内 情 報 の 提 供	通 年	園内の各所に工夫を凝らした展示解説板やクイズボード等を設置し、動物に関する知識の普及を図った。また、「きょうの見どころ・イベント」の掲示板により当日の情報を提供した。
おもてなしの送迎	通 年	毎週土・日曜日、祝日の開園前に、職員がその日のイベントや見どころ等について説明を行い、また、開園時及び閉園時には入退場門でお出迎え、お見送りをするなど、職員一同おもてなしの気持ちを持って、来園者の送迎を行った。

名 称	実施期間	内 容
スマートフォン等用 園内ガイドアプリの構築	27年11月25日～ 28年 3月31日	スマートフォンやタブレットを活用し、入園者の利便性の向上や動物に関する知識の普及を図るため、公募型コンペティションにより受託者を選定し、スマートフォン等用の園内ガイドアプリを構築した。 (平成28年4月から運用開始)

f 施設の維持補修など

名 称	実施期間	内 容
施設の維持補修など	通 年	入園者が安全・快適に施設を利用できるよう、広島市から委託を受け、カワウソ舎のろ過ポンプ取替、動物解説サインの更新、園路灯や人止め柵などの塗装などを行った。

g 施設の機能充実

名 称	実施期間	内 容
みどり生きものサポート・安佐動物公園 募金等による施設の 機能充実	通 年	より魅力的な施設を入園者に提供するため、寄附金を募集し、チンパンジーが木の枝を道具として使って中にいる蜂蜜をなめる人工アリ塚を設置した。

(イ) 生物多様性の保全

a 他団体との連携

名 称	実施期間	内 容	回 数 等
日動水の種保存に関する会議への参加	通 年	(公社)日本動物園水族館協会の種保存に関連した会議に参加し、種保存(繁殖)計画の検討及び調整を行った。	7回
希少動物の保護	通 年	(公社)日本動物園水族館協会からの受入れ要請に基づき、ワシントン条約違反の任意放棄動物を保護した。	28点
日本オオサンショウウオの会の活動	27年10月3日 ～27年10月4日	東広島市で開催された総会に参加し、保護活動に必要な情報交換を行った。	1回
姉妹動物園との交流	27年11月8日 ～27年11月13日	種の保存を目的とした動物交換や飼育技術交流等を推進するため、ホノルル動物園に職員2名(獣医師1名、飼育技師1名)を派遣した。	1回

b 生息域内保全

名 称	実施期間	内 容	回 数
生息地における絶滅危惧動物の保全	通 年	北広島町志路原地区の保全団体などとの協働により、オオサンショウウオやナゴヤダルマガエルなど、絶滅に瀕した野生動物の保全活動を行った。また、国土交通省から灰塚ダム貴重両生類保護管理業務を受託し、ナゴヤダルマガエルの保全活動に取り組んだ。	オオサンショウウオの野外調査 8回 ナゴヤダルマガエルの野外調査 5回

c 生息域外保全

名 称	実施期間	内 容	回 数
生息地以外における絶滅危惧動物の保全	通 年	広島県の絶滅危惧種であるナゴヤダルマガエル、国の特別天然記念物であるオオサンショウウオの飼育下繁殖や繁殖行動の調査などに取り組んだ。	2回

d 動物に関する調査・研究等

名 称	実施期間(日)	内 容
動物に関する調査・研究	通 年	日本産動物の飼育・展示や園内に生息する動物の観察に関する調査・研究、ダルマガエルやオオサンショウウオの生態調査及びカエルツボカビ症の調査、鳥類の性別判定法の研究などを行った。
各種資料の収集	通 年	ズーカーイーブックなど動物に関する書籍・雑誌・資料を収集し、繁殖などの調査・研究に役立てた。
写真・ビデオなどの制作	通 年	コウノトリの育雛の様子、グラントシマウマやヒョウの搬出の様子などを写真・ビデオ等に収録し、飼育技術の向上、継承及び調査・研究に役立て、事業記録として保存した。
学会・研究会への参加	通 年	(公社)日本動物園水族館協会や各種学会が主催する、動物園技術者研究会、中四国野生動物医療・看護勉強会、ゾウ会議、両生類爬虫類会議、国際野生動物管理学術会議などに参加・発表した。
オオサンショウウオの調査研究成果の公開	通 年	大学・博物館等との共同により、オオサンショウウオの調査研究を推進し、その成果を講演会等により市民に公開した。
オオサンショウウオに関するアンケート調査結果の公開	28年 1月24日	平成26年度のアンケート調査では十分な結果が得られなかつたため、引き続き27年度もアンケートを実施し、その結果を1月の第2回オオサンショウウオ共同研究シンポジウムで発表した。
研究活動発表会(動物園・植物園・昆虫館共同事業)	28年 2月23日	動物公園の研究成果を市民に発表する場を設け、「広島市安佐動物公園におけるコウノトリの初繁殖」と題して発表した。 (参加者 75人)

e 野生動物の救護

名 称	実施期間	件 数 等			
野生動物の救護	通 年	哺乳類 鳥類 爬虫類 両生類 計	18 件 103 件 4 件 1 件 126 件	9 種 41 種 3 種 1 種 54 種	18 点 119 点 5 点 1 点 143 点

(イ) 教育・普及

a 社会教育への協力

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
動物レクチャー・体験型環境学習プログラム	通 年	動物科学館2階ホールや動物展示場前において、随時、動物の生態や特徴についての話や体験学習を行った。	79 件 5,854 人
クイズ形式ワークシートの園内配布	通 年	小・中学生の入園料無料化にあたり学年やテーマ別に、クイズ形式のワークシートを作成・配布することにより、動物への関心や興味を喚起する機会を提供した。	一
ぴーちくパークにおけるふれあい指導	通 年	ポニーの乗馬やテンジクネズミとのふれあいの場を提供した。	乗馬 8,090 人 ふれあい 54,448 人
動物 ク イ ズ ラ リ ー の 助 成	通 年	遠足時におけるクイズラリーの相談を受け、助言やスタンプの貸出しを行った。	18 件
実習生の受入れ	通 年	大学生などを受け入れ、博物館実習(学芸員実習)、飼育実習、獣医臨床実習を行った。	45 人
講演会・研修会への講師の派遣	通 年	児童館や公民館などの要請に基づいて、職員を講師として派遣し、動物の生態や自然などについて講演した。	75 件
教 材 資 料 の 作 製・貸 出 し	通 年	骨格標本など教材資料を作製し、学校などを対象に貸出しを行った。	骨格標本等教材 103 件 540 点
大学・専門学校と連携したイベント実習	通 年	大学・専門学校と連携して、動物ふれあい活動やミニ動物園などを行い、学生が市民応対を通して、動物愛護思想の普及方法を実習できる機会を提供した。	6 件

名 称	実施期間(日)	内 容	件 数 等
学べる動物園	通 年	展示動物の魅力を効果的に伝えるため、飼育係が楽しく分かりやすい解説板を作製し、動物舎前に設置した。	30 件
教材生物バザールへの参 加	27年 5月15日	県立教育センターの要請に基づいて職員を派遣し、教材として動物資料を提供した。	1 件
宮島水族館と連携した講師の相互派遣	派遣 27年 8月 8日 受入 27年 9月12日	安佐動物公園と宮島水族館の職員を互いの施設に講師として派遣し、飼育している生物について講演を行った。	15 人 12 人
教員対象セミナーの開 催	27年 8月16日	教員及び教員を目指す学生を対象に、主に中学校2年生で学習する「動物の食べ方」の単元に必要な知識の普及を図った。実物の観察や講義を行うとともに、授業で使用できるビデオ教材を作成した。	17 人
青少年のための科学の祭典広島大会への参 加	27年10月24日 27年10月25日	子どもたちが自然科学や科学技術の楽しさを体験する祭典に職員を派遣し、動物に関するレクチャーを行った。	500 人

b 学校への職員派遣

名 称	実施期間	内 容	件 数
出 前 授 業	通 年	小・中学校及び高校に職員を派遣し、動物の生態や動物公園の仕事などについての説明や授業を行った。	11 件

c 市民・団体との協働

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
動 物 解 説 ボ ラン テ ィ ア	通 年	園内で動物解説活動にあたるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 解説ボランティア登録人数：61人	活動延べ人数 371 人
作業ボランティア	通 年	園内で花づくりなどの作業にあたるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 作業ボランティア登録人数：47人	活動延べ人数 850 人

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
大学・専門学校と の 協 働	通 年	大学・専門学校と動物公園との相互協力により共同研究などを行った。	広島大学 1件 静岡大学 1件 山口大学 1件 愛知教育大学 1件 岐阜大学 1件 麻布大学 1件 岡山理科大学 1件 酪農学園大学 1件 近畿大学 1件 パックネル大学(米国) 1件
アフリカゾウの一 日 警 察 署 長 (安佐北警察署)	27年 4月25日	例年交通事故件数が多いゴールデンウイークに向けて、アフリカゾウのメイが「一日警察署長」として交通安全に関するパフォーマンスを披露した。	150 人
鹿角ストラップづくり (公財)広島市文化財団)	27年 4月29日	シカの角を使った縄文風のオリジナルストラップ作りを体験する場を提供了。また、市内で発掘された動物に関する出土品を展示了。	1,390 人
リ ュ 一 ス フリーマーケット (広島市環境局)	27年 5月16日~ 27年 5月17日 27年 9月26日~ 27年 9月27日	ごみを出さない循環型社会を目指した取組の一つとして、家庭不用物品のリユースを促進するためのフリーマーケットを開催した。	出店 95組 45組
ASA ZOO-ZOO ふ れ あ い 広 場 (㈱広島東洋カープ)	27年 5月24日	マツダスタジアムで動物ふれあい広場などを行った。	1,000 人
ロハスフェスタ へ の 協 力 (株)テレビ新広島)	27年 5月30日~ 27年 5月31日	環境にやさしい生活をテーマにしたロハスフェスタに職員を派遣し、動物の頭骨標本や毛皮を用いた解説を行った。	入場者数 33,960 人
「動物園ラッピングトラム」 運 行 へ の 協 力 (広島高速交通㈱) (広島市立大学)	(愛称募集) 27年 6月 1日~ 27年 6月14日 (運行記念イベント) 27年 7月21日~ 27年 7月26日	広島高速交通㈱、安佐動物公園及び広島市立大学の連携プロジェクト「動物園ラッピングトラム」の運行に伴い、ラッピングトラムの愛称募集を行うとともに、運行記念イベントを行った。	応募 329 票 愛称 アザズーライン
サンフレッヂエ応援 ASAZOOミニ動物園 (㈱サンフレッヂエ広島)	27年 7月15日	ホームゲームの開催日にエディオンスタジアムで、ヒメウズラ、アオダイショウ、ダルマガエルの3種の展示と解説パネルの掲示、動物の頭骨標本や毛皮を用いた解説を行った。	500 人
がんばれサンフレッヂエ広島 メイちゃんとPK対決 (㈱サンフレッヂエ広島)	27年 7月26日	アフリカゾウのメイがシュートして飼育係がゴールを守るPK対決などを行った。	164 人

名 称	実 施 日	内 容	参加者数等
ドリームナイト・アット・ザ・ズー (ジブラルタ生命保険㈱)	27年 8月 9日	障害児とその家族及び東日本大震災により福島県から広島市に避難して来られた家族を招待した。	2,459人
夕暮れコンサート (公社)広島交響楽協会)	27年 8月16日	夜間開園で、広島交響楽団による夕暮れコンサートを実施した。	550人
わくわく！安佐動物公園 夏休み思い出作り (サンスター㈱)	27年 8月23日	動物の歯や生態に関するステージイベント、バックヤードガイド、キャラクターショー、歯の健康相談などを行った。	1,789人
防災の日関連イベント (国土交通省中国地方整備局)	27年 9月 5日	9月1日の防災の日にちなみ、気象予報や気象と動物の行動との関係、災害や防災などをテーマとするトークショーを開催した。また、国土交通省中国地方整備局による降雨体験装置の設置等により防災意識の向上を図った。	入園者数(昼間) 2,676人
みんなで折ろう 動物 折り紙 (社会福祉法人はぐくみの里)	27年10月12日	広島平和記念公園へ贈られた千羽鶴を再生して作った折り紙で、サイ、ゾウなどの動物を折ることを通じて、来園者の動物への关心や平和への思いを高めた。	220人
ZOO スポ！！ 動物園で体力測定 (公財)広島市スポーツ協会)	27年10月17日	動物の能力に関連したゲームに参加しながら体力測定ができるイベントを開催した。	255人
どうぶつ重さ長さクイズ (広島市計量検査所・(一社)広島県計量協会・広島市計量協会)	27年11月 1日	11月1日の計量記念日にちなみ、ゾウの体重と胸囲、ガチョウの体重、ヤマアラシの毛の長さを入園者に予想してもらい、公開計測を行った。	予想投票数 578票
メイちゃんの 一日消防隊長 (安佐北消防署)	27年11月15日	秋の全国火災予防運動にあわせて、ゾウのメイが「一日消防隊長」として、他のゾウと一緒に火災予防パフォーマンスを行った。	200人
ボランティアとの 共同イベント	27年12月 5日	ボランティアが中心となり、動物公園のヒツジの毛を使ってマスコットを作るイベント「フェルトでゆきだるま」を開催した。	100人
レッドスパークスと 一緒にホッケ一体験 (コカ・コーラウェスト㈱)	27年12月19日	レッドスパークスの選手からホッケーのルールや楽しさを教わるホッケー教室などを開催した。	120人

d 広島動物愛好会の活動

会員内訳

(個人会員：171人、家族会員：40家族 150人、賛助会員：5社)

名 称	実施日・回数	内 容	参加者数等
例 会 (第260回～第265回)	27年 4月12日	「安佐動物公園における40年間の野鳥調査記録」(講話)、園内見学	51人
	27年 6月14日	「ソシオグラムを用いたグラントシマウマの群れの社会関係の解析」(日本動物園水族館協会技術研究表彰受賞記念講演)、園内見学	29人
	27年 8月 9日	「再整備基本計画について」、「ハナ49歳達成記念」(講話)、園内見学	31人
	27年10月11日	「ダチョウを知り尽くそう～ダチョウ飼育話～」(講話)、「ダチョウを知り尽くそう～卵を使ったアクティビティ～」(卵の重さ比べ等)、企画展「知っとる？RDB48種の生きものたち」見学	51人
	27年12月13日	十大ニュース、懇談会	48人
	28年 2月14日	「アフリカの希少類人猿・ボノボ」(伊谷原一氏講演会)、「勤続43年の職員による安佐動物公園よりもやま話」(講話)	(講演会参加者70人のうち) 35人
会 誌 の 発 行	年 6 回	愛好会の活動や動物公園の出来事などを載せた会誌「ズーミング」を発行した。	各回 250部
すづくりの送付	年 4 回	動物公園の出来事などを載せた「すづくり」を会員に送付した。	各回 250部
自 然 觀 察 会	27年 6月 6日	ホオジロ、ヒバリ等の鳥類、ネムノキ、リンドウ等の植物などの観察を行った。 場所：島根県大田市三瓶町	49人
	27年12月 6日	マガン、コハクチョウ、オオハクチョウ、ヒドリガモ、ホシハジロ等の宍道湖・斐伊川河口の野鳥の観察を行った。 場所：島根県出雲市	43人

e コンクールその他催し物の開催

(a) コンクール

名 称	応募期間・実施日	内 容	応募点数等
子ども写生大会 (中国新聞社共催)	27年 5月10日	幼児、小・中学生を対象に、動物公園の動物や園内風景を題材とした写生大会を実施し、優秀作品を表彰した。	応募 632 点 入選 197 点
動物作文・詩コンクール	27年7月1日 ~27年9月15日	小・中学生を対象に、動物に関する作文・詩を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 699 点 入選 274 点
動物画コンクール	27年7月1日 ~27年9月15日	動物公園の動物や園内風景を題材とした動物画を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 2,762 点 入選 398 点
動物写真コンクール	27年7月1日 ~27年12月28日	動物を題材とした写真を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 502 点 入選 43 点
動物たちと消防の写生大会 (安佐北区子供会連合会 ・安佐北消防署共催)	28年 3月13日	動物と消防車を題材とした写生大会を実施し、優秀作品を表彰した。	応募 399 点 入選 60 点

(b) 観察会

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
ダルマガエルの目覚め観察会	27年 5月 6日	飼育下で冬眠中のダルマガエルをミズゴケから掘り起こす作業を公開した。	45 人
モリアオガエルの産卵観察会	27年 6月13日	園内に生息する野生のモリアオガエルと、その卵塊を観察した。	250 人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	27年10月18日	帝釽峡で秋の野鳥、昆虫、植物の観察を行った。 場所：庄原市東城町	72 人

(c) 動物教室その他催し物

名 称	実施期間	内 容	参加者数等
動物愛称募集及び命名式	通 年	繁殖により誕生した動物の愛称を市民から募集するとともに、愛称の命名式を行った。	レッサーパンダ 応募 1,197 票 愛称 キク、マル
まいにち動物解説	通 年	園内での動物解説を毎日時間を決めて数か所で実施した。動物の生態などをわかりやすく解説し、動物への理解を深めた。	33,948 人

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
バックヤードガイド	通 年 (毎週土曜日)	普段は見学することのできない動物舎などに案内し、動物公園の仕事や動物への理解を深める機会を提供した。	99回 2,053人
サンちゃんツアー (オオサンショウウオ保護増殖施設ガイドツアー)	通 年	毎月1回、オオサンショウウオ保護施設を案内し、オオサンショウウオの保護活動が環境保全に繋がることを伝え、参加者の保護意識のかん養を図った。	12回 223人
写真どうぶつえん	通 年	動物公園の動物を題材とした写真を募集し、作品を飼育舎前に掲示した。	応募 掲示 148枚 62枚
動物公園春まつり	27年4月1日 ～27年5月6日 28年3月12日 ～28年3月31日	春の行楽シーズン中の各土・日曜日、祝日に様々な催し物を実施し、動物の知識の普及と入園者の増加を図った。	入園者数 133,119人
動物観察えさやり体験デー	27年 4月 4日・ 5日 28年 3月 26日・27日	キリン、ヤギ、ヒツジへのえさやり体験を通じた動物とのふれあいの場を提供了。	キリン 100人 ヤギ・ヒツジ 348人
動物お食事タイム	27年 4月 4日・ 5日	飼育係がペンギンやシマウマ、レッサーパンダなどに給餌をしながら、動物の生態や能力について解説した。	入園者数 2,959人
アニマルバルーンアート	27年 4月 18日・19日	色とりどりのペンシルバルーンを巧みに操り、さまざまなかわいい動物を作り出すバルーンアート教室を開催した。	480人
ヒツジの毛刈りと糸つむぎ教室	27年 5月 2日・ 3日	ヒツジの毛刈りの様子を一般公開するとともに、毛糸ができるまでの過程を体験できるコーナーを設けた。	糸つむぎ体験 303人
オリジナル缶バッジ作り	28年 3月12日	動物への関心を高め、動物公園での思い出が形として残るよう、オリジナル缶バッジを作る工作教室を開催した。	252人
動物脱出対策公開訓練	28年 3月21日	ライオンが脱出したという想定で動物脱出対策公開訓練を行った。	入園者数 7,227人
「飼育の日」イベント	27年 4月19日	4月19日の「飼育の日」にちなみ、飼育係が動物の飼育に関する日頃の体験などを語るトークショーを開催した。	60人
カエルのための田んぼ作り (田植え体験)	27年 5月 9日	園内に設置したカエルの生息に配慮した水田で、募集した参加者と田植えを行った。	17人

名 称	実 施 日	内 容	参加者数等
動物園 de 婚活	27年 5月31日 27年11月26日	独身の男女を対象に、園内ツアーやクイズ大会、バーベキュー（11月のみ）など、動物園ならではの出会いの場を提供し婚活を支援した。	49人 40人
オウム・インコデー インコと記念撮影	27年 6月14日	6月15日のオウム・インコデーにちなみ、希少動物であるインコについて解説し、記念撮影コーナーやインコ相談コーナーを設置した。	120人
解剖教室 ～獣医入門～	27年 6月20日	小学校4～6年生を対象に獣医師による動物の体の構造についての講義や、解凍したニワトリの解剖を行った。	11人
おめでとう長寿世界一！ クロサイのハナ	(特別公開) 27年 7月 4日・11日 18日・25日 (お祝いセレモニー) 27年 7月18日	非公開としているクロサイの雌「ハナ」が49歳となり、長寿世界記録に並んだことを記念して、安佐動物公園に来園した7月の土曜日に特別公開し、お祝いセレモニーを行った。	961人
動物園で七夕	27年 7月 7日	レッサーパンダの糞を使用した動物公園特製の短冊に願いを書いて竹に取り付けた。	24人
動物公園で アイスクリーム作り	27年7月19日	乳製品と家畜との関係を解説し、アイスクリームを作り試食した。	270人
もうすぐ大暑 動物へ 暑中お見舞い	27年 7月20日	大暑に、果物の入った氷やスイカなどをアスピスヒヒやゾウに与えた。入園者にもかき氷をプレゼントした。	303人 かき氷プレゼント 50人
サマースクール	27年 7月22日 27年 7月24日	小学校4～6年生を対象に飼育実習を行い、動物の飼育方法や動物の暮らしについて学ぶ機会を提供した。	36人 39人
夜の動物園で動物観察 (寄附者対象)	27年 8月 9日	みどり生きものサポーター等の寄附者を夜の動物公園に招待し、動物たちの夜間特有の行動を解説する観察会を行った。	117人
神楽ステージ	27年 8月 15日・22日 29日 27年 9月 5日	広島で盛んな伝統芸能「神楽」で、動物の登場する演目をナイト・サファリにおいて上演した。	2,200人
開園記念日行事	27年 9月 6日	公募により決定した小学生に一日園長を委嘱し、園内巡視やえさ作り体験などを行った。	入園者数 1,757人

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
動物公園秋まつり	27年9月12日 ~27年11月29日	秋の行楽シーズン中の各土・日曜日、祝日に様々な催し物を実施し、動物の知識の普及と入園者の増加を図った。	入園者数 160,579人
カエルのための田んぼで稻刈り体験	27年 9月13日	園内に設置したカエルの生息に配慮した水田で、募集した参加者と稲を収穫した。	19人
アニマルベビートーク&クイズ	27年 9月20日	平成27年に産まれたグラントシマウマ、コウノトリ、オオフラミンゴ、エリマキツネザルの子どもをテーマにした飼育係によるクイズを交えたトークショーを開催した。	160人
動物たちの長寿を祝う会	27年 9月21日	敬老の日に、長寿の動物たち（クロサイ、アフリカタテガミヤマラシ）に果物などを与え、入園者とともに祝った。	500人
世界サイの日 クロサイのことを知ろう	27年 9月22日	世界サイの日にちなみ、クロサイの生態や野生の現状について、クイズを交え、解説を行った。	280人
オリジナル缶バッジ作り	27年 9月23日	シルバーウィークの思い出づくりができるよう、子どもたちが祖父母等と一緒にオリジナル缶バッジを作る工作教室を開催した。	250人
Zoo cafe 飼育係と動物トーク	27年10月 4日・11日 18日・25日	10月の毎週日曜日に飼育係が入園者と対話しながら動物の不思議や飼育のこぼれ話などをするサイエンスカフェを開催した。	740人
ふりふりバター作り	27年10月10日	生クリームとペットボトルを使って簡単にバターを作る方法を指導し試食とともに、家畜と人との関わりについて解説した。	146人
ハロウィン動物園	27年10月24日	ハロウィンにちなんだフェイスペイントをした入園者を誘客とともに巨大カボチャの展示を行った。	入園者数 2,733人
動物園で いも掘り	27年10月31日	園内の動物の餌とするイモ畑で入園者とともにサツマイモを収穫した。	50人
動物観察エサやり 体 験 デ 一	27年11月 1日・8日・ 15日・22日・ 29日	11月の毎週日曜日に、入園者がキリン、ヤギへのエサやりを体験し、食べ方などを間近で観察できる体験デーを実施した。	311人
働く動物に 感謝の日	27年11月23日	勤労感謝の日に、安佐動物公園一の働き者、ポニーの4頭を表彰してニンジンをプレゼントし、記念撮影を行った。	200人

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
レッサーパンダの日 動 物 解 説	27年 9月19日	9月の第3土曜日が国際レッサーパンダデーであることにちなみ、安佐動物公園で飼育しているレッサーパンダの生態などについて飼育係が解説した。	50人
大人のための 飼 育 体 験 教 室	27年11月21日	野生動物への関心を深めるため、飼育実習と講義等を行った。	16人
動物公園冬まつり	27年12月 5日 ～28年2月28日	冬季の各土・日曜日、祝日に様々な催し物を実施し、動物に関する知識の普及と入園者の増加を図った。	入園者数 63,608人
申 に な っ て 記 念 撮 影	27年12月 1日～ 27年12月28日	平成28年の干支「申」の顔出し看板を園内に設置して記念撮影の場を提供した。	入園者数 17,800人
クリスマス動物 キャンドル作り	27年12月20日	クリスマスにちなみ、動物型のキャンドルを作るイベントを開催した。	101人
元 気 に 冬 越 し 冬至はかぼちゃ	27年12月22日	冬至に、ゾウやアヌビスヒビなどにかぼちゃんを与え、動物たちの健康を願った。	281人
クリスマス カーブ選手と サイタクロースが プレゼント	27年12月25日	飼育係が扮したクロサイのサンタクロースが、動物にはエサ、入園者にはお菓子などをプレゼントした。また、広島東洋カープの岩本選手を招聘し抽選で入園者に賞品をプレゼントした。	660人
元日イベント 未から申への 干支の引継ぎ式	28年 1月 1日	新年を迎えるイベントとして、元日に「未」から「申」への干支の引継ぎを行った。	120人
新 春 子 ど も もちつき体験	28年 1月 2日・ 3日	新春を祝う行事として、子どもたちによるもちつき体験を行った。	206人
落 ち 葉 で やきいも作り	28年 1月17日	冬の風物「やきいも」作りを体験しながら、動物たちの冬の過ごし方について解説した。(28年1月24日は大雪のため中止)	75人
動物公園で雪遊び	28年 1月31日～ 28年 2月 3日	冬の動物公園のにぎわい作りのため、雪の滑り台を作った。	入園者数 2,984人
まんが動物園 &動物まんが クイズラリー	(まんが展示) 28年 2月 1日～ 28年 2月28日 (クイズラリー) 28年2月 7日・14日 21日・28日	飼育係が描いたまんが解説パネルを展示し、そのまんがを題材にしたクイズラリーを行った。	3,866人
動 物 講 演 会	28年 2月14日	平成28年が申年であることにちなみ、「アフリカの希少類人猿・ボノボ」と題し、市民を対象にした講演会を開催した。	119人

名 称	実 施 日	内 容	参加者数等
親 子 動 物 教 室	28年 3月19日	親子を対象に、動物クイズや小動物の観察、飼育係の案内による園内見学など、動物の生態や飼育等について学ぶ場を提供した。	10組 21人

f 学校教育活動の受入れ

名 称	実施期間	内 容	参加者数等
なかよし動物教室	通 年	生きものへの関心を深めるため、保育園・幼稚園の園児を対象に、ポニーの乗馬やヤギ、テンジクネズミとのふれあいの場を提供した。	114件 3,510人
職場体験の受入れ	通 年	中学校の「総合的な学習の時間」において、動物公園の職場体験を希望する生徒を受け入れた。	1件 6人
進路総合学習の受入れ	通 年	中学校の進路総合学習において、動物公園の職場見学を希望する生徒を受け入れた。	2件 35人
自然体験活動の受入れ	通 年	動物の観察や動物とのふれあいを目的として、市立小・中学校の児童・生徒を受け入れた。	57件 2,864人

g 企画展その他展示会の開催

名 称	実施期間	内 容
動物と消防の写生大会入賞作品展	27年 4月11日 ～27年 4月19日	「動物と消防の写生大会」の入賞作品を展示した。
動物写真コンクール入賞作品展	27年 4月26日 ～27年 5月24日	「動物写真コンクール」の入賞作品を展示した。
子ども写生大会入賞作品展	27年 6月13日 ～27年 7月 5日	中国新聞社と共に催で行った「子ども写生大会」の入賞作品を展示了。
企画展示 「グランマ『HANA』 ～クロサイのハナ おばあちゃんの記録～」	27年 7月18日 ～27年 8月30日	クロサイの雌「ハナ」が49歳となり、長寿世界記録に並んだことを記念して、「ハナ」の歴史や功績などをパネル等で紹介した。
企画展示 「知っとる？R D B 48種の生きものたち」	27年 9月12日 ～27年10月25日	絶滅の危機にある生きものを取り上げた「レッドデータブックひろしま2011」の中から、安佐動物公園と宮島水族館に関する48種の野生生物を選び、それぞれ紹介した。

名 称	実施期間	内 容
動物画コンクール 入賞作品展	27年11月 3日 ～27年11月29日	「動物画コンクール」の入賞作品を展示した。
干支展 「申・さる・サル～いろいろなサルを見てみよう～」	27年12月12日 ～28年 1月11日	平成28年の干支が申であることにちなみ、安佐動物公園にいるサルの仲間や世界に生息する様々なサルについて、パネルやクイズで紹介した。
市民公募展	「広島市立大学 芸術学部絵画展」	28年 1月23日 ～28年 2月21日
	「世界 街角の動物 たち」	28年 3月 5日 ～28年 3月27日

h 広報普及

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
マスコミ広報	通 年	テレビ局・ラジオ局・新聞社・出版社などを通じて、催し物や赤ちゃん誕生などの話題を広報した。	広報件数 87 件 取材件数 358 件 《取材件数の内訳》 テレビ 175 件 ラジオ 76 件 新聞 91 件 その他 16 件
近隣県市町訪問広報	通 年	呉市、東広島市に職員を派遣し、動物公園のイベントや教育活動等をPRするとともに、各市の集客施設やイベントとの連携を呼びかけた。	2 か所
動物レクチャー・ 体験型環境学習 プログラムの普及	通 年	動物レクチャーや体験型環境学習プログラムを学校などに配布し、利用を呼びかけた。	205 か所
観光事業所との連携	通 年	観光事業所に職員を派遣し、動物園事業をPRし、観光客の来園を促した。また、広島観光コンベンションビューローなどと連携して、観光客の増加を図った。	9 件
催し物案内ポスター・ PR用チラシの配布	通 年	市内郵便局ネットワークを利用して、動物公園のPR用チラシを公共施設や観光事業所に配布した。	1,439 か所
動物写真パネル の 貸 出 し	通 年	動物の写真パネルやまんがを公共施設や事業所などに貸し出し、これらの場所を動物公園のPRの場とした。	32 か所 写真パネル 600 点 まんが 84 点

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより施設の紹介、催し物、赤ちゃん誕生などの最新情報を提供了。	Eメールによる問合せ等 108 件
ツイッターによる広報	通 年	情報共有力・拡散力の高いツイッターにより、施設、イベントなどの魅力ある情報を速やかに発信した。	1, 123 件
動物解説広場の実施	通 年	みなとフェスタなど地域イベント会場において、動物や骨格標本の展示、動物に関するレクチャーなどを行い、動物公園をPRした。	2 件
マスコットキャラクターを利用したPRの実施	通 年	オオサンショウウオのキャラクターの着ぐるみ「サンちゃん」等を積極的に園内外のイベントに参加させ、動物公園のPRを行った。	9 件
幼稚園・保育園・小学校へのPR	通 年	市園長会、市小学校校長会等でPR活動を行い、遠足の誘致を図った。	7 件
有料の広告媒体による広報	通 年	イベントチラシの新聞折込、FMラジオなど有料の広告媒体を利用して集客を図った。	7 件

i 出版物の発行

名 称	発行部数	内 容
「すづくり」「26年度年報」「飼育記録集」	4回 計3,400部 10部 220部	動物公園のニュース、動物の飼育記録や生態などを紹介した「すづくり」及び飼育動物の生態に関する研究や飼育技術などについての発表をまとめた「飼育記録集」などを発行、配布し、動物に関する知識の普及や動物園事業の周知を図った。

j 動物に関する相談

名 称	実施期間	件 数
動 物 相 談	通 年	飼育相談 野生動物の救護 引取依頼 有害鳥獣の駆除対策 その他一般相談 計
		22 件
		32 件
		63 件
		47 件
		230 件
		394 件

ウ 植物公園の管理運営 [公2事業]

広島市から指定（期間：平成26年4月1日～平成30年3月31日）を受けた広島市植物公園における植物の栽培・展示、収集及び栽培管理、入園料の収受、施設の維持管理などを行い、入園者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れや講座その他催し物の開催など各種事業を実施し、植物に関する知識及び植物愛好心の普及、かん養並びに植物愛好者の育成を図った。

(ア) 植物の栽培・展示など

a 植物の栽培・展示

[展示場所] 主な展示植物	内 容
[大温室] ヤシ、ラン、熱帯果樹など	約620品種10,960株を、単子葉植物、双子葉植物といった分類学上のグループや、食用、薬用などの利用目的によって9区域に分けて植栽し、説明板や模型をつけて展示した。最高部が21mある温室の大きさを活かし、巨大な熱帯植物とそれらが醸し出す熱帯の雰囲気を体感できる展示を行った。改修工事に伴い、平成28年2月1日から平成29年秋までの予定で閉鎖する。
[サボテン温室] サボテンなど	サボテン類や多肉植物約250品種、850株を科ごとに分けて植栽し、説明板や写真パネルをつけて展示した。乾燥地に適応した特異な形態や植物の適応戦略の面白さを知ることで、生き物に対する興味の高揚を図った。
[熱帯スイレン温室] 熱帯スイレンなど	1年を通じ多彩で美しい花を咲かせる約50品種100株の熱帯スイレンを植栽し、エキゾチックな憩いの空間を提供した。また、巨大な葉を持つオオオニバスを展示して夏休み期間中に試乗体験会を行うほか、子どもに人気の高いウツボカズラやハエトリグサなどの食虫植物を、模型や解説パネルを交えて展示するコーナーを設け、子どもが植物に興味を抱くきっかけ作りの場とした。
[ベゴニア温室] 球根ベゴニアなど	季節を問わず美しい花を楽しむことのできる癒しの空間を提供するために冷暖房と電気照明設備を活用し、世界で最も美しい花の一つと言われる球根ベゴニアを周年開花させ、650品種の様々なベゴニアとあわせて展示した。また、球根ベゴニアの生育過程を解説展示することで、植物を育てることに興味を抱く機会を提供した。
[フクシア温室] フクシア、野生ランなど	風鈴のようにチャーミングな花を咲かせるフクシア約100品種160鉢を周年展示し、非日常的な植物の美しさを楽しむ場とした。また、野生ランコーナーでは当園の主要なコレクションである世界の野生ランを、解説パネルなどを交えて展示し、ランの不思議な世界を観賞できるようにした。

[展示場所] 主な展示植物	内 容
[カスケード] インパチエンス、パンジーなど	年間2,000基以上のプランターやコンテナを設置し、季節を代表する草花を展示して家庭園芸の見本とした。また、巨大ハンギングバスケットを季節やイベントにあわせて草花やクラフトなどで飾った。
[展示温室] ゼラニウムなど	世界のラン、ゼラニウム、セントポーリアとイワタバコの仲間、食虫植物、薬用植物、変化アサガオなど植物公園が保有するコレクションと、近郊の愛好家が出品するエビネ、セッコク・長生蘭、ウチョウラン、サボテン、オモトなど、季節にふさわしい植物を年間19回展示した。
[芝生広場] サクラなど	入園者の憩いの場、語らいの場のほか、子どもの遊び場として利用した。また、周辺にはサクラ類、マンサク、ロウバイ、アンズなどの花木類を植栽・展示し、早春から春のベストシーズンにかけて見ごろとなるゾーンとした。
[花の進化園] スイレン科、ユリ科、キク科、ラン科など	種子植物を科ごとにまとめて植栽し、分類や進化の説明をつけて展示することにより、入園者が実物を観察しながら、花の進化について理解を深める場とした。また、被子植物の新しい分類体系として最近主流になりつつあるAPG分類体系へ順次移行を図った。(APGとは、Angiosperm Phylogeny Group(被子植物系統グループ)の略で葉緑体DNAの解析から、植物の類縁関係を決定し分類したものである。)
[屋外展示場] クレマチス、山野草など	愛好家が出品するクレマチス、山野草のほか、サクラソウ、アジサイ、中国ギクなど植物公園の収集・保存の成果を紹介・展示了。
[ロックガーデンと うらら池散歩道、 里山の野草園] チングルマ、ナミキソウ、 ヒゴタイ、ヤチシャジンなど	ロックガーデンには高山や海岸といった厳しい環境に適応した種を、うらら池の散策路沿い及び里山の野草園には主に広島県内の林床、草原、水辺など里山の環境に自生する種を植栽・展示了。野生植物の多様な姿や絶滅危惧植物を紹介することで、植物の自生状態や自然保護への関心を促した。
[バラ園] バラ	広島市に寄贈された品種、野生種、オールドローズや古花と呼ばれる希少な園芸品種の植栽展示に力を入れることで他のバラ園との差別化を図り、バラの遺伝子資源の保全に貢献した。また、適所に新品種を配置し、バラに包まれたくつろぎの空間を提供した。バラ園を拡充し、オールドローズの植栽を増やした。
[ツバキ園] ツバキなど	季節感に溢れ、日本が世界に誇る園芸植物の一つであるツバキを植栽・展示了。周囲には、ザザンカ類、ヒメシャラなどの野生種や、タイワンフウ、イロハモミジ、ニッサなど紅葉の美しい樹木を植栽し、秋から冬にかけての見どころとした。
[日本庭園] ウメ、ハナショウブ、 アジサイなど	本格的な茶室を中心に、ウメ、ハナショウブ、アジサイ、モモなど和風の植物を植栽し、落ち着いた雰囲気でくつろげる空間を提供した。ハナショウブ園では後世に伝えたい古花の展示に努め、他の大規模なハナショウブ園との差別化を図った。拡充したハナショウブ園では、江戸期に育成された古花を中心に、これまでの1.5倍の1,000株を展示了。また、最奥部では自生地に近い環境を生かし、ヤマアジサイ、エビネの植栽展示を充実させた。

主な展示植物 〔展示場所〕	内 容
〔樹林観察園〕 シイ類、ブナ、カエデ類など	西南日本の常緑広葉樹林と落葉広葉樹林の構成種を植栽し、これらの樹林の環境や樹木について現地に行くことなく体感、学習できる場を提供した。
〔こども花壇〕 パンジーなど	春にパンジー、夏にキバナコスモス、秋にコスモスの迷路を作り、子どもが楽しめる場を提供した。
〔展示資料館壁面・ 通路スペースなど〕 アサガオの巨大カーテン、 巨大ダリアなど	技術力が必要な巨大な植物、珍しい植物など入園者に驚きを与える植物の展示を行った。

【植物の栽培展示数】

(平成28年3月31日現在)

区 分	種 類	本 数
大 温 室 (※)	620 品種	10,960 本
サボテン温室	250 品種	850 本
熱帯スイレン温室	150 品種	600 本
ベゴニア温室	650 品種	2,000 本
フクシア温室	140 品種	230 本
栽培温室	3,910 品種	32,520 本
バラ园	700 品種	1,000 本
ツバキ园	200 品種	600 本
花の進化園、樹林観察園その他	3,380 品種	154,240 本
合 計	10,000 品種	203,000 本

※ 「大温室」は、改修工事のため平成28年2月1日から閉鎖しており、同欄の種類及び本数は閉鎖前の栽培展示数である。

b 植物の収集及び栽培管理

名 称	内 容
展示・保存植物 の維持・充実	計画的な増殖や種子・種苗の交換などにより、展示植物や保存植物の維持・充実を図った。
栽培下における増殖	サクラソウ、ハナショウブ類など希少な植物や、球根ベゴニアやフクシアなど周年展示している展示上重要な植物の増殖を行った。
種子・種苗の交換	国内外の植物園などと種子の交換を行い、多くの植物を収集して、貴重な種の保存を行うとともに、育苗して植栽・展示し、植物に関する知識の普及を図った。 譲受け：19か国 45か所 144種 譲渡し：21か国 63か所 117種

名 称		内 容			
種 苗 の 導 入		キソウテンガイ、ゴウシュウヘゴ、ドラクラなどの珍しい植物のほか、市場などの情報調査によって、季節ごとに展示する魅力ある植物を導入した。			
植 物 の 栽 培 管 理		生育状態を良好に保ち、病害虫被害の発生を未然に防ぐため、品種ごとに灌水、施肥、剪定、温度・湿度の管理、必要に応じた薬剤散布などを適切に行い、栽培環境の向上を図った。			

c 入園料の収受 (利用料金制)

【入園状況】

		区 分			入園者数	使 用 料	
有 料 入 園 者	個 人	大人	18歳以上 65歳未満	510円	55,915人	28,516,650円	
			65歳以上	170円	17,328人	2,945,760円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	170円	517人	87,890円	
	年間 パス ポー ト	大人	18歳以上 65歳未満	1,540円	2,629人	4,048,660円	
			65歳以上	510円	1,551人	791,010円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	510円	0人	0円	
	提 示	大人	18歳以上 65歳未満	—	16,382人	—円	
			65歳以上	—	8,757人	—円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	—	0人	—円	
	團 体	大人	18歳以上 65歳未満	430円	2,658人	1,142,940円	
			65歳以上	130円	716人	93,080円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130円	29人	3,770円	
	優 待 割 引	大人	18歳以上 65歳未満	430円	30人	12,900円	
			65歳以上	130円	1人	130円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130円	0人	0円	
小 計				106,513人	37,642,790円		
減免等入園者 (小・中学生、社会福祉施設、その他)				104,734人	0円		
合 計				211,247人	37,642,790円		

d 利用促進

名 称	実施期間(日)	内 容	入園者数等
年間パスポートの販売 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	通 年	より多くの方に植物公園の魅力に触れる機会を提供するため、動物公園・昆虫館と共に利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。	販売枚数 4,180 枚
さくらまつり	27年4月4日 ～27年4月29日 (土・日・祝日)	桜の見頃の時期に合わせ、桜観賞会や写真撮影講習会、コンサートなどのイベントを実施し、入園者の増加を図った。	19,104 人
夜 間 開 園	27年 4月 4日 27年 4月 5日 27年 4月 6日 27年 4月 7日 27年 4月 8日 27年 4月 9日 27年 4月11日 27年 4月12日 27年 9月12日 27年 9月13日 27年 9月19日 27年 9月20日 27年 9月21日 27年 9月22日 27年11月28日 27年11月29日 27年12月 5日 27年12月 6日 27年12月12日 27年12月13日 27年12月19日 27年12月20日 27年12月23日	夜間に開花する植物(オオオニバス・サガリバナ・月下美人)、夜に香る植物(夜香木、夜来香)、桜などのライトアップや、キャンドルとイルミネーションを使った幻想的な空間づくり、コンサートなどを行い、植物公園の魅力を向上させ、入園者の増加を図った。	夜間入園者数 (16時以降の入園者数) 764 人 924 人 37 人 114 人 78 人 90 人 836 人 602 人 3,498 人 2,234 人 3,058 人 3,563 人 3,276 人 4,071 人 2,593 人 1,752 人 2,763 人 1,920 人 3,376 人 2,170 人 3,119 人 1,710 人 957 人 合計 43,505 人
休園日の開園	27年 4月17日 27年 5月 1日 27年10月 9日	造幣局花のまわりみち、ゴールデンウイーク及び秋のグリーンフェア期間中の休園日を開園し、利用者に対するサービスの向上を図った。	473 人 1,027 人 299 人 合計 1,799 人
みどりの日・植物園の日記念行事	27年 5月 4日	みどりの日と植物園の日を記念し、花苗のプレゼントやコンサートなど様々なイベントを実施した。	4,337 人

名 称	実施期間(日)	内 容	入園者数
区民ウォーク in 植物公園 (佐伯区役所共同事業)	27年 5月30日	手軽な健康づくりの場としての利用を通じて、植物公園の利用促進を図るため、市民を対象にウォーキング大会を実施した。	210人
サマーフェア	27年7月11日 ~27年8月31日	夏休み期間中を中心に、巨大カボチャの展示や芝生広場での巨大噴水迷路などを実施し、入園者の増加を図った。	34,565人
秋のグリーンフェア 会場としての利用	27年10月 3日 ~27年10月12日	秋のグリーンフェアの会場として期間中の入園料を無料とし、入園者サービスの向上並びに入園者数及び収入(駐車料など)の増加を図った。	17,288人
電動カートの運行	27年10月10日 ~28年3月31日	毎週土・日曜日、祝日に勾配のある園内の移動手段として、電動カートを巡回し、入園者サービスの向上を図った。	4,460人
開園記念日 記念行事	27年11月 3日	開園39周年を記念し、ガーデンシクラメンのプレゼントやコンサート、園内ガイドなど様々なイベントを実施した。	3,317人

e 施設の維持管理・園内サービス

名 称	実施期間	内 容
施設の維持管理	通 年	入園者に安全・快適な観察環境を提供するため、園内の清掃・警備を行った。また、温室などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	入園者が快適に観察できるよう、標識、リーフレットや園内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
QRコードによる 情 報 提 供	通 年	QRコードを利用して、園内植物等に関する情報を入園者に提供した。
樹木ラベル の 充 実	通 年	樹木ラベルの追加・更新、雌雄の表示を行った。

f 施設の維持補修など

名 称	実施期間	内 容
施設の維持補修など	通 年	広島市から委託を受け、大温室の改修に伴う樹木の移植工事等を行った。

(イ) 生物多様性の保全

a 他団体との連携

名 称	実施期間	内 容	件 数
都市における自然環境保全活動	通 年	広島市の保存樹・保存樹林指定審査会への参加により、都市空間における自然環境保護の推進に寄与した。	1 件
希少植物の保護	通 年	(公社)日本植物園協会からの受入れ要請に基づき、ワシントン条約違反の任意放棄植物を保護した。	1 件
タンポポ調査・西日本 2015	通 年	タンポポ調査・西日本実行委員会が主導するタンポポ調査・西日本 2015 に広島県事務局として参加し、県内のタンポポに関する市民からの情報提供を受け、種ごとの分布や外来種の割合について調査を行った。	5 件

b 生息域内保全

名 称	実施期間	内 容	件 数
生息地における絶滅危惧植物の保全	通 年	世羅郡世羅町など広島県内の自生地において、絶滅に瀕したヤチシャジンの調査や保全活動を行った。	5 件

c 生息域外保全

名 称	実施期間	内 容	種 数 等
生息地以外における絶滅危惧植物の保全	通 年	様々な野生ラン、ヤチシャジン、ヒゴタイなど広島県内産種を中心に、日本の絶滅危惧植物を保全した。また、(公社)日本植物園協会の多様性保全拠点園事業に参加し、「植物多様性保全2020年目標」達成に貢献した。	日本産 約 120 種 ワシントン条約 75 種
園芸植物遺伝子の保護	通 年	変化アサガオ、日本サクラソウ、バラやランなどの古い園芸品種など、保護が必要な園芸植物を栽培・保存した。(公社)日本植物園協会が行うナショナルコレクション検討委員会に参加し、「植物多様性保全2020年目標」達成に貢献した。	66 種 約 400 系統 検討会 2 件

d 植物に関する調査・研究

名 称	実施期間(日)	内 容	件 数 等
植物に関する調査・研究	通 年	《植生調査》 主に県内の植物分布などの調査を行い、希少植物や分布上貴重な植物について、自生状況を記録するとともに、保護に努めた。	国内 21回 国外 0回
		《成果の公表》 植物に関する調査・研究活動により得られた知見を学会や印刷物により公表した。	5件
新品種の保護	通 年	農林水産省からの依頼による、種苗法に基づく新規出願品種の現地調査員、種苗登録に関する基準案作成検討委員としての活動により、新品種の保護に努めた。	種苗特性分類調査 2件 基準案作成検討委員会 1件
各種資料の収集	通 年	植物の標本及び植物に関する書籍・雑誌・資料を収集し、栽培や調査・研究に役立てた。	植物標本等 673点
研究活動発表会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	28年 2月23日	植物公園の研究成果を市民に発表する場を設け、「みんなで調べた広島県のタンポポ」と題して発表した。	参加者 75人

(ウ) 教育・普及

a 社会教育への協力

名 称	実施期間(日)	内 容	件 数 等
講習会・研修会などの開催及び講師の派遣	通 年	団体の要請に基づいて、随時、植物公園で講習会・研修会などを開催するとともに、職員を講師として派遣した。	16 件
実習生の受入れ	通 年	大学生などを受け入れ、博物館実習(学芸員実習)などを行った。	4 件 4 人
森の幼稚園を活用した保育者指導	27年 5月31日 27年10月11日	幼児教育の専門家を招き、保育者等を対象とした自然体験プログラムの指導を行った。	36 人 27 人

b 市民・団体との協働

名 称	実施期間	内 容	活動者数等
植物解説ボランティア	通 年	園内で植物解説活動に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 解説ボランティア登録人数：59人	活動延べ人数 1,533 人
植物管理ボランティア	通 年	園内で植物管理に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 管理ボランティア登録人数：17人	活動延べ人数 359 人
地域団体などの協働	通 年	造幣局広島支局「花のまわりみち」の桜樹育成指導や文化活動などにより、地域の活性化を図った。また、(公社)日本植物園協会植物研究会の開催や、展示協力などを行った。	20 件 《内訳》 造幣局桜樹育成指導 1 件 造幣局今年の花選定 1 件 佐伯区百人委員会花部会 12 件 さえきフラワープロジェクト 3 件 日本植物園協会植物研究会 1 件 広島県ラン展 1 件 沖縄国際洋蘭博覧会 1 件
グリーン・レガシー・ヒロシマへの協力	通 年	被爆樹木の種子を国内外の都市へ送付する活動に対し、種子の保存や送付の協力を行った。また、被爆樹木のラベル取付作業に協力した。	11 件

名 称	実施期間(日)	内 容	件 数 等
花と緑の広島 づくりの推進	通 年	緑化推進部・区役所・地域団体と連携して、地域の花壇作り等の活動を行うグループへの講習を実施し、リーダー育成につなげた。	6 件
日本ハンギングバスケット協会 マスター認定試験 受験者の作品展示	27年9月19日 ～27年9月24日	日本ハンギングバスケット協会マスター資格認定試験の会場として、試験期間中には園内に作品を展示し、ハンギングバスケットへの理解を深める場とした。	45 点

【愛好者団体による展示会】

名 称	実施期間	内 容
おし花美術作品展	27年4月4日 ～27年5月7日	身近な草花や花木を素材としたおし花の美術作品を展示了。
エ ピ ネ 展	27年4月25日 ～27年4月30日	日本の野生ランの中で最も美しく、花色の多いエビネを展示了。
春 の 山 野 草 展	27年4月25日 ～27年4月30日	春咲きの山野草を野趣あふれる鉢作りで展示了。
ク レ マ チ ス 展	27年5月2日 ～27年5月10日	テッセンやカザグルマの名で親しまれる色とりどりの大輪の花が美しいクレマチスの仲間を展示了。
セッコク・長生蘭展	27年5月9日 ～27年5月14日	日本の野生ランであるセッコクとその中で斑入りなどの特徴を持ち長生蘭と呼ばれる品種を展示了。
趣 味 の ボ タ ニ カ ル アート 展	27年5月9日 ～27年6月11日	ボタニカルアート(植物細密画)を展示了。
初 夏 の 小 品 盆 栽 展	27年6月13日 ～27年6月18日	フウチソウやツツジなど、初夏に見ごろの植物を小鉢仕立てで展示了。
ウ チ ョ ウ ラ ナ 展	27年6月13日 ～27年6月18日	初夏に可憐な花を咲かせる小型の野生ランであるウチョウランを岩付けや大鉢作りで展示了。
サ ボ テ ン 展	27年6月20日 ～27年7月2日	変化に富んだサボテンや多肉植物を展示了。
ボタニカルアート 教 室 作 品 展	27年8月22日 ～27年9月17日	ボタニカルアート(植物細密画)教室の作品を展示了。

名 称	実施期間	内 容
秋の山野草展	27年9月19日 ～27年9月24日	秋咲きの山野草を野趣あふれる鉢作りで展示した。
植物友の会作品展	27年9月19日 ～27年9月27日	広島市植物公園植物友の会会員による鉢花や植物写真、美術作品、クラフトなどを展示した。
私の好きな花たちの写真展	27年9月29日 ～27年10月29日	身近な植物を題材とした写真を展示した。
ガーデニングコンテスト作品展	27年10月3日 ～27年10月12日	一般公募によるコンテナガーデン(花の寄せ植え)とハンギングバスケットを展示した。
ハンギングバスケット展	27年10月7日 ～27年10月12日	ハンギングバスケットを展示し、作り方などを紹介した。
生きのこ展	27年10月17日 ～27年10月18日	広島県に自生する様々なキノコを展示した。
寒 蘭 展	27年11月12日 ～27年11月19日	東洋蘭の中でも特に清楚で気品のある寒蘭を展示した。
新春小品盆栽展	28年1月4日 ～28年1月7日	松・竹・梅など、新春を飾るにふさわしい植物を小鉢仕立てで展示了。
盆 栽 展	28年1月9日 ～28年1月14日	直幹、模様木、文人作りなど様々な樹形が楽しめる盆栽を展示した。
植物写真コンテスト作品展	28年1月16日 ～28年2月4日	園内の植物や風景をテーマに募集した植物写真コンテストの入賞作品を展示了。
植物日本画展	28年2月6日 ～28年2月25日	四季折々の植物の姿を描いた日本画を展示し、作品などについて解説した。
おもと(万年青) 名 品 展	28年2月17日 ～28年2月22日	葉の斑入り模様や形の変化がおもしろい万年青を展示了。
フラワーデザイン展	28年2月27日 ～28年3月3日	切り花やドライフラワーなど様々な素材を生かしたフラワーデザインの作品を展示了。
クリスマスローズ展	28年2月27日 ～28年3月6日	多彩な花色と品種に人気があるクリスマスローズを展示了。
「草木染の世界」展	28年3月5日 ～28年3月31日	草木を使った染物と染色に利用される植物などを展示し、作品などについて解説した。

c 植物友の会の活動

会員内訳

(個人会員：113人、家族会員：20家族49人、賛助会員：8社)

名 称	実施日(回数)	内 容	参加者数等
例 会	27年 5月10日	園内植物観察	39人
	27年 7月12日	「春の野外観察会～服部さんの山野草の楽園～報告」、夏の園芸作業	34人
	27年 9月27日	秋の園芸作業、園内植物観察	37人
	27年11月 8日	「秋の野外観察会～アッケシソウの自生地～報告」、冬の園芸作業、園内植物観察	37人
	28年 1月10日	「岡山市半田山植物園探訪」(植物調査講演会)、園内植物観察	38人
	28年 3月13日	総会、園内植物観察	44人
会 誌 の 発 行	年 4 回	植物の話題や友の会の活動、植物公園の出来事などを載せた会誌「はなの輪」を発行した。	夏号 300 冊 秋号 300 冊 冬号 300 冊 春号 300 冊
野 外 観 察 会	27年 5月16日	山野草などの観察を行った。 場所：島根県邑智郡邑南町布施 講師：服部 導人氏	27人
	27年10月25日	アッケシソウの自生地などの観察を行った。 場所：岡山県浅口市寄島町 講師：アッケシソウを守る会 作田 雅利氏	22人
	27年12月 6日	被爆樹木の観察を行った。 場所：原爆ドーム前～横川駅 講師：植物公園主任技師 平井 健一郎	7人
講 習 会	27年 9月13日	P E Tボトルを使ったハンギングバスケット作りを行った。	5人

d 講座その他催し物の開催

(a) 講座

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
ガーデニング講座 ～基礎から応用まで～	27年 4月28日	これから始める寄せ植え	20人
	27年11月14日	ビオラのハンギングリース作り	22人
植物学入門講座	27年 6月 3日	植物の細胞・組織・器官	25人
	27年 6月10日	葉とその特徴	24人
	27年 6月17日	根とその特徴	24人
暮らしに役立つ ハーブ講座	27年 7月25日	易しいハーブのガーデニング	17人
	27年 8月 1日	食卓のハーブ	17人
	27年 8月 8日	ふわりと楽しめるハーブクラフト	17人

(b) 講習会・実演会

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
さくら写真撮影講習会	27年 4月 4日	初心者向けにサクラの写真の撮り方にについて指導した。	40人
	27年 4月18日		27人
緑のカーテン講習会	27年 4月25日	アサガオやゴーヤなどを使った緑のカーテン作りについて指導した。	12人
春の山野草実演会	27年 4月26日	春の山野草の栽培方法について実演指導した。	25人
エビネ実演会	27年 4月29日	エビネの育て方について実演指導した。	42人
クレマチス実演会	27年 5月 5日	クレマチスの育て方について実演指導した。	52人
セッコク実演会	27年 5月10日	日本の野生ランであるセッコクの育て方について実演指導した。	12人
ボタニカルアート 色付け講習会	27年 5月10日	ボタニカルアート(植物細密画)の色付けについて指導した。	12人
ハーブ実演会	27年 5月23日	ハーブの手軽な利用方法や楽しみ方について実演指導した。	42人

名 称	実 施 日	内 容	参 加 者 数
バラ講習会	27年 5月24日	一般家庭に普及しているバラ全般の栽培方法について、詳しく指導した。	125人
ハナショウブ実演会	27年 6月 6日	ハナショウブの育て方について実演指導した。	30人
	27年 6月14日		20人
アジサイ実演会	27年 6月 7日	アジサイの育て方について実演指導した。	60人
	27年 6月13日		40人
小品盆栽実演会	27年 6月14日	小品盆栽の仕立て方、育て方について実演指導した。	15人
	28年 1月 5日		22人
食虫植物実演会	27年 7月26日	食虫植物を紹介し、栽培方法や魅力について実演指導した。	120人
ボタニカルアート講習会	27年 8月30日	ボタニカルアート(植物細密画)の描き方について指導した。	13人
秋の山野草実演会	27年 9月20日	秋の山野草の栽培方法について実演指導した。	11人
ガーデニング実演会と解説	27年10月 4日	コンテストの解説に併せてハンギングバスケットやコンテナガーデン(花の寄せ植え)などの作り方について実演指導した。	38人
植物写真撮影講習会	27年10月25日	植物の写真の撮り方について指導した。	13人
寒蘭実演会	27年11月15日	寒蘭の育て方について実演指導した。	15人
卓上ツリ一作り講習会	27年11月22日	卓上ツリーの作り方について指導した。	26人
植物スケッチ講習会	28年 2月21日	植物のスケッチの仕方について指導した。	25人
おもと(万年青)実演会	28年 2月21日	万年青の栽培管理について実演指導した。	30人
クリスマスローズ実演会	28年 2月27日	クリスマスローズの育て方について実演指導した。	17人
	28年 2月28日		26人
	28年 3月 5日		59人
	28年 3月 6日		24人
フラワーデザイン実演会	28年 2月28日	簡単なフラワーアレンジの方法について実演指導した。	38人

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
洋 ラン 講 習 会	28年 2月 28日	洋ランの魅力や種類、栽培方法などについて指導した。	11人
洋 ラン 実 演 会	28年 3月 6日	洋ランの育て方について実演指導した。	46人
草 木 染 講 習 会	28年 3月 20日	草木染の方法について指導した。	56人
椎 茸 栽 培 講 習 会	28年 3月 21日	椎茸の植菌とその後の管理方法について指導した。	50人

(c) 講演会・展示解説

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
サボテン展解説	27年 6月 21日	サボテン展の展示とサボテンの育て方について解説した。	30人
被爆樹木講演会	27年 7月 26日	被爆樹木の保存に関わっている樹木医が、被爆樹木の現状と保存・継承の重要性について講演を行った。	45人
変化朝顔展解説	27年 9月 20日	変化朝顔展の展示と変化アサガオの育て方について解説した。	15人
植物日本画展 ギャラリートーク	28年 2月 21日	植物日本画展の作品などについて解説した。	7人
「草木染の世界」展 ギャラリートーク	28年 3月 20日	「草木染の世界」展の作品などについて解説した。	12人

(d) コンクール

名 称	実施期間(日)	内 容	応募点数等
ラン審査会	27年 5月 2日	ランの栽培技能の向上を図るため、ラン展展示協力団体から出品されたランを審査し、優秀作品を表彰した。	25人 153点
	27年10月24日		24人 135点
	28年 2月27日		27人 185点
ガーデニングコンテスト	27年8月1日 ~27年9月14日	コンテナガーデン(花の寄せ植え)とハンギングバスケットを一般公募し、優秀作品を表彰した。	応募 59点 入選 30点
植物写真コンテスト	27年9月1日 ~27年11月30日	植物公園の植物や園内風景を題材とした写真を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 418点 入選 63点

(e) 観察会

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
季節の花さんぽ	27年 4月14日	アカボシシャクナゲやハンカチノキなどの観察を行った。	29人
	27年 4月25日		34人
	27年 5月12日	ナンジャモンジャやバラなどの観察を行った。	1人
	27年 5月23日		35人
	27年 6月 9日	ハナショウブやサボテンなどの観察を行った。	42人
	27年 6月27日		20人
	27年 7月14日	マツムシソウやノリウツギなどの観察を行った。	7人
	27年 7月25日		26人
	27年 8月11日	タマアジサイやカリガネソウなどの観察を行った。	15人
	27年 8月22日		12人
	27年 9月 8日	オオモクゲンジやホトトギスなどの観察を行った。	21人
	27年 9月26日		27人
	27年10月13日	コスモスやバラなどの観察を行った。	37人
	27年10月24日		11人
	27年11月10日	コダチダリアや紅葉などの観察を行った。	14人
	27年11月28日		18人
	27年12月 8日	カエデやサザンカなどの観察を行った。	18人
	28年 1月12日	ソシンロウバイやシナマンサクなどの観察を行った。	20人
	28年 1月23日		12人

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
季節の花さんぽ	28年 2月 9日	マンサクやセツブンソウなどの観察を行った。	22人
	28年 2月 27日		16人
	28年 3月 8日	しだれ梅やヒスキカズラなどの観察を行った。	19人
	28年 3月 26日		24人
大温室空中散歩	27年 4月 19日		78人
	27年 4月 26日		118人
	27年 4月 29日		122人
	27年 5月 2日		110人
	27年 5月 3日		101人
	27年 5月 4日	大温室内の地上10mにある通路を歩きながら、熱帯植物やランの観察を行った。	166人
	27年 5月 5日		152人
	27年 5月 6日		143人
	27年 10月 3日		136人
	27年 10月 4日		159人
	27年 10月 10日		65人
	27年 10月 11日		110人
	27年 10月 12日		116人
			合計 1,576人
被爆樹木探訪	27年 7月 19日	被爆樹木展の開催時期に合わせて、主な被爆樹木の状態を見て回り、樹木医など保存関係者が保存の取組について説明した。	28人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	27年 10月 18日	自然に関する理解を深めるため、庄原市東城町(帝釈峠)で動・植物や昆虫を観察した。	72人
きのこ観察会	27年 10月 18日	園内に自生するキノコを散策しながら観察した。	60人
野鳥観察会	28年 1月 11日	園内に飛来する野鳥を観察した。	31人

(f) 植物教室その他催し物

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
植物ガイド (寄附者対象)	27年 4月11日	植物への理解を深めるため、夜間開園の特別公開日に、夜咲く花、香る花など特徴ある植物について解説した。	1人
ジュニアプロジェクト	27年 4月12日	ガイドボランティアが園内の植物や自然を通じて、植物や環境について楽しく学べる自然体験プログラムを実施した。	106人
	27年 5月10日		73人
	27年 6月14日		33人
	27年 7月12日		47人
	27年 8月 9日		65人
	27年 9月13日		55人
	27年10月11日		98人
	27年11月 8日		3人
	27年12月13日		33人
	28年 1月10日		25人
	28年 2月14日		25人
	28年 3月13日		48人
			合計 611人
オリエンテーリング	27年 5月 4日	みどりの日、サマーフェア、開園記念日にオリエンテーリングを開催し、参加者に記念品を進呈した。	500人
	27年 7月11日		3,884人
	~27年 8月31日		
	27年11月 3日		800人
森 の 幼 稚 園	27年 5月31日	幼児と保護者を対象に園内の植物や自然を通じて、楽しく学ぶ機会を提供するとともに、保育者等を対象とした自然体験プログラムの指導を行った。	15組 36人
	27年10月11日		10組 27人
ハナショウブ & アジサイまつり	27年6月6日	ハナショウブやアジサイの見頃の時期に合わせ、栽培講習会、お茶会、花の解説などを行った。	5,502人
	~27年6月28日 (土・日)		
親子植物体験教室	27年 7月22日	小学校1~3年生とその保護者を対象に、植物の観察などを通じて植物について楽しく学べる教室を実施した。	25組 58人
オオオニバス 試乗体験会	27年 8月19日	小学生(低学年)以下を対象に、オオオニバスの葉に乗る体験会を実施した。 (25日は申込制)	355人
	27年 8月22日		417人
	27年 8月23日		454人
	27年 8月25日		130人
			合計 1,356人

e 学校教育活動の受入れ

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
自然体験学習の受入れ	通 年	小・中学校が行う自然体験学習を受け入れるほか、オリエンテーリングの相談に応じ、植物や自然保護などについて指導した。	33件 2,050人
職場体験などの受入れ	通 年	中学校の職場体験や高等学校のインターンシップを受け入れ、指導した。	7件 20人

f 企画展その他展示会の開催

名 称	実施期間	内 容
サクラソウ展	27年4月18日 ～27年4月23日	花の形や色の変化に富むサクラソウを展示した。
春の洋ラン展	27年5月2日 ～27年5月7日	春咲きのランの原種や交配種を展示し、ランの魅力を紹介した。
ハーブ展	27年5月16日 ～27年5月28日	ハーブとして利用されている植物とその利用方法を紹介した。
ローズフェスティバル	27年5月16日 ～27年5月31日	春バラの展示を中心に、バラに関する講習会やガイドツアー、バラの苗木の販売などを行った。
セントポーリアとイワタバコの仲間展	27年5月30日 ～27年6月11日	可憐で人気のあるセントポーリアとその仲間のイワタバコ属を展示した。
アジサイ展	27年6月6日 ～27年6月28日	花の色の変化に富むアジサイの原種や園芸品種などを展示した。
特別企画展 「被爆70周年 広島市の被爆樹木」	27年6月27日 ～27年8月16日	被爆樹木の保存と継承の必要性について、パネルや映像で紹介した。
夏のカラフルリーフ展	27年7月4日 ～27年7月23日	斑入り植物や様々な色の葉を持つ植物を展示した。
世界の食虫植物展	27年7月25日 ～27年8月23日	ハエトリグサやウツボカズラなど、子どもたちに人気のある世界の食虫植物を展示した。
薬用植物展	27年8月25日 ～27年9月14日	ウコンやキョウなどの薬用植物を展示した。
変化朝顔展	27年9月19日 ～27年9月27日	花や葉が変化した珍しいアサガオを展示した。

名 称	実施期間	内 容
ダリアの世界展	27年10月3日 ～27年10月12日	近年人気の高いダリアの品種を展示した。
秋の洋ラン展	27年10月24日 ～27年11月3日	カトレヤやパフィオペディルムなど洋ランの園芸品種と珍しい原種を展示した。
キク展	27年10月24日 ～27年11月8日	日本と中国の交流の証である中国の菊花と日本の園芸菊などを展示した。
蘭花譜 展 セレクションⅡ	27年10月31日 ～27年12月23日	ヒロシマフラワーカレッジ主宰 谷川圭子氏より寄贈を受けた、日本の蘭の彩色図譜の傑作と称えられている「蘭花譜」の中から代表的な作品を展示した。
クリスマスを飾るフラワー展	27年11月21日 ～27年12月24日	シクラメンやポインセチア、カランコエなど、クリスマスでよく使われる植物や飾りを展示した。
カラソコエと冬の鉢花展	28年1月16日 ～28年2月4日	カラソコエを主体にシクラメンなどの冬の鉢花を展示し、品種や栽培方法などをパネルで解説した。
早春の洋ラン展	28年2月27日 ～28年3月6日	早春咲きのランの原種や交配種を展示し、ランの魅力を紹介した。
ゼラニウム展	28年3月12日 ～28年3月31日 (予定:28年4月20日まで)	多彩な花色と葉の模様・色が美しいゼラニウムや、豪華なペラルゴニアなどを展示した。

g 広報普及

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
マスコミ広報	通 年	テレビ局、ラジオ局、新聞社、出版社などを通じて、植物の見頃の時期や催し物などについては毎月、珍しい植物の開花状況などについては随時、広報を行った。	テ レ ビ 44 件 ラ ジ オ 12 件 新 聞 39 件 情報誌等 282 件 計 377 件
催し物案内ポスター・PR用チラシの配布	通 年	催し物案内ポスターやPR用チラシを作製し、公共施設などに配布した。	ポスター 645 か所 チラシ 1,912 か所
植物写真パネルなどの貸出し	通 年	植物や園内風景などを撮影した写真パネル・画像データを公共施設や事業所などに貸し出し、植物公園のPRを図った。	8 か所 181 点
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより、施設の紹介、催し物、開花状況などの最新情報を提供した。	アクセス件数 108,333 件

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
メールマガジンの発行	通 年	催し物、開花状況などを、登録した読者のパソコンや携帯電話に配信した。	メールマガジン登録 710人 ミニまぐ登録 63人
デジタルサイネージによる情報発信	通 年	シャレオ中央広場などに設置されたディスプレイを利用して、イベントのPRを図った。	7回
アストラムライン駅での電照広告	通 年	アストラムライン県庁前駅に電照広告を行い、植物公園のPRを図った。	1か所
有料の広告媒体による広報	通 年	西広島タイムスに広告を行い、植物公園のPRを図った。	1か所

h 出版物の発行

名 称	発行部数	内 容
「栽培記録」	300 部	各種の出版物を発行、配布して、国内外の植物園、大学、各関係機関との交流を深め、植物園事業の発展を図るとともに、植物に関する知識の普及及び植物園事業の周知を図った。
「種子目録」	205 部	
「年報」	70 部	

i 植物に関する相談

名 称	実施期間	内 容	件 数
植物園芸相談	通 年	植物の栽培方法など植物に関する相談等を受けて助言、指導した。	2,573 件

エ 昆虫館の管理運営 [公2事業]

広島市から指定（期間：平成26年4月1日～平成30年3月31日）を受けた昆虫館における昆虫の飼育・展示、収集及び飼育管理、入館料の収受、施設の維持管理などを行い、入館者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れや観察会その他催し物の開催など各種事業を実施し、昆虫に関する知識及び昆虫愛護思想の普及、かん養並びに昆虫愛好者の育成を図った。

(ア) 昆虫の飼育・展示など

a 昆虫の飼育・展示

[展示場所] 主な展示昆虫	内 容
[パピヨンドーム] チョウ類	亜熱帯の花が咲き乱れるジャングルを再現した温室に、オオゴマダラ、リュウキュウアサギマダラ、ツマベニチョウ、クロテンシロチョウなど10種500頭以上の沖縄産チョウ類を放蝶し、吸蜜、飛翔、求愛、交尾、産卵などチョウの様々な行動をまのあたりに観察できる展示を行った。
[パピヨンドーム] ホウジャク類 ハナアブ類 イトトンボ類	オオスカシバなどのホウジャク類約50頭、ヒラタアブなどのハナアブ類約250頭、キイトトンボなどのイトトンボ類約150頭を放し、展示を行った。
[昆虫ランド] 外国産昆虫	ヘラクレスオオカブトムシ、ハナビラカマキリ、オオエンマハンミョウなど、子どもに人気のある外国産昆虫を展示した。
陸 生 昆 虫	[昆虫ランド] 夜行性昆虫 オオクワガタ、カブトムシ、タイワンクツワムシ、オオゴキブリなど夜に活動する昆虫を、照明を昼夜反転させて展示した。入館者がスイッチを押すことでスポット照明が点灯して、野外で懐中電灯を照らしながら昆虫を観察する状況を再現した。鳴く虫については、小型マイクとスピーカーを使い、鳴く姿と鳴き声を同時に観察できるよう展示した。
	[昆虫ランド] 昼行性昆虫 クロカタゾウムシ、ナナホシキンカメムシ、タイワンツチナゴなど昼に活動する昆虫を展示した。
	[昆虫ランド] 季節の昆虫 ハンミョウ、オンブバッタ、ヒナカマキリなど広島県に分布し、季節の移り変わりを感じさせる昆虫を展示した。
[昆虫ランド] 水生昆虫	ゲンゴロウ、タガメ、ミズカマキリなどの水生昆虫をそれぞれの生息環境に住むその他の水生生物（オタマジャクシ、魚類、甲殻類、プラナリア類）とともに展示した。ゲンゴロウ類については1日2回の餌やりショーも実施した。
[昆虫ランド] 職員おすすめ！旬の昆虫	ツチハンミョウ、ウラギンシジミの幼虫など、飼育技術が確立していない、あるいは出現期が短く、長期の飼育には向かない昆虫を展示した。
[昆虫ランド] 昆虫以外の陸生節足動物	昆虫との違いを観察することにより、昆虫に関する理解や知識を深めるため、一般的に昆虫と間違えやすいオオゲジ、サソリ、タランチュラなど、昆虫以外の陸生節足動物を展示した。
[昆虫ランド] なつかしい身近な生き物	アメリカザリガニ、スジエビ、モリアオガエルのオタマジャクシなど40代以上の人人が子どもの頃、遊びの中で出会っていた昆虫以外の小動物を展示した。

【昆虫の飼育展示数】

(平成28年3月31日現在)

区分	種類	頭数
チョウ類など(パピヨンドーム)	11種	650頭
外 国 产 昆 虫	44種	227頭
夜 行 性 昆 虫	25種	613頭
昼 行 性 昆 虫	23種	812頭
季 節 の 昆 虫	5種	22頭
水 生 昆 虫	9種	97頭
旬 の 昆 虫	4種	32頭
昆虫以外の陸生節足動物	24種	44頭
なつかしい身近な生き物	4種	11頭
合 計	149種	2,508頭

b 昆虫の収集及び飼育管理

名 称	内 容
展示昆虫の維持及び種の保存	計画的な採集や交換などにより、累代飼育を適正に行い、展示昆虫を維持するとともに、保護が必要な昆虫を飼育し、種の保存に取り組んだ。
近交弱勢防止のためのチョウその他の昆虫の採集	累代飼育の結果生じる近交弱勢を防止するため、広島県内のほか、沖縄県西表島や石垣島でチョウ類やバッタ、クワガタ、カメムシ類などの昆虫を採集した。
昆 虫 の 交 換	近交弱勢などを防止するため、他の昆虫展示施設と余剰昆虫を交換した。 譲受け：グラントシロカブトムシなど22種 譲渡し：スジグロカバマダラなど2種
チョウその他の昆虫の累代飼育	他の動物に比べ比較的寿命の短い昆虫を周年展示するために、チョウ類19種、その他の昆虫約130種を累代飼育した。
新 し い 展 示 分 野 開 拓 の た め の 採 集	新しい展示分野を開拓するため、広島県内のほか、沖縄県西表島や石垣島などで、クロテンシロチョウ、ヒメアサギマダラなどのチョウ類、ゲンゴロウ類などの水生昆虫、チャイロマルバネクワガタ等の甲虫類、キンカメムシ類、ゴキブリ類、ナナフシ類などを採集した。
外 国 产 昆 虫 等 の 導 入 と 飼 育	アフリカオオエダカマキリ等の外国産昆虫及び昆虫以外の大形多足類を導入し、累代飼育の確立に努めた。
「簡易繁殖場」におけるカブトムシの繁殖	昆虫好物樹木園に設置した簡易繁殖場で、カブトムシの幼虫の餌にする腐葉土を落ち葉で作るとともに、市民から譲り受けたカブトムシの幼虫約50頭を入れて、繁殖に向けた飼育を開始した。
飼育昆虫の成育管理	成育状態を良好に保つため、温度・湿度の管理のほか、チョウその他の昆虫の飼育及び展示に不可欠な蜜源植物及び食草を周年栽培・維持管理し、飼育環境の向上を図った。

c 入館料の収受 (利用料金制)

【入館状況】

区分				入館者数	使用料	
有料入園者	個人	大人	18歳以上 65歳未満	510円	20,237人	
			65歳以上	170円	2,227人	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	170円	216人	
	年間パスポート	大人	18歳以上 65歳未満	1,540円	1,214人	
			65歳以上	510円	81人	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	510円	0人	
		大人	18歳以上 65歳未満	—	6,318人	
			65歳以上	—	426人	
			小人	18歳未満(小・中学生を除く)	—	
	団体	大人	18歳以上 65歳未満	430円	884人	
			65歳以上	130円	18人	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130円	1人	
	優待割引	大人	18歳以上 65歳未満	430円	3人	
			65歳以上	130円	0人	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130円	0人	
小計				31,627人	13,030,930円	
減免等入園者(小・中学生、社会福祉施設、その他)				55,682人	0円	
合計				87,309人	13,030,930円	

d 利用促進

名称	実施期間	内容	販売枚数
年間パスポートの販売 (動物園・植物園・ 昆虫館共同事業)	通年	より多くの方に昆虫館の魅力に触れる 機会を提供するため、動物公園・植物公園 と共に利用できる年間パスポートを販 売し、利用者に対するサービスの向上及び リピーターの確保を図った。	1,295枚

名 称	実 施 日	内 容	入館者数
休館日の開館	27年 7月22日 27年 7月29日 27年 8月 5日 27年 8月12日 27年 8月19日 27年 8月26日 27年10月 7日 27年10月14日 27年10月21日 27年10月28日	夏休み及び10月の休館日を開館し、利用者に対するサービスの向上及び入館者の増加を図った。	86人 261人 228人 379人 208人 270人 107人 98人 329人 208人 合計 2,174人

e 施設の維持管理・館内サービス

名 称	実施期間	内 容
施設の維持管理	通 年	入館者に安全・快適な観察環境を提供するため、館内の清掃・警備を行った。また、建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	入館者が快適に観察できるよう、標識、リーフレット、館内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行つた。
展示解説の充実	通 年	写真パネルや地図パネルを追加して、分かりやすい解説と/or やうに努めた。また、生体昆虫展示については、幼児向けに、ひらがな表記の「おこさまらべる」を取り付けた。
入館者への涼感サービスの提供	27年7月 ~27年9月	夏期の暑さ対策として、昆虫館玄関前広場とパピヨンドーム内にミスト発生装置を設置した。

f 施設の機能充実

名 称	実施期間	内 容
みどり生きものサポート・昆虫館募金等による施設の機能充実	通 年	昆虫好物樹木園に昨年度設置したカブトムシの繁殖施設のメンテナンスを行うとともに、新たに、ゴマダラチョウやオオムラサキの越冬施設を2か所設置した。

(イ) 生物多様性の保全

a 他団体との連携

名 称	実施期間	内 容	件 数
希少昆虫の生態調査及び自然環境保護の推進	通 年	ミヤジマトンボ保護管理連絡協議会、ヒヨウモンモドキ保全地域協議会に参加し、環境省、広島県、三原市、廿日市市と連携してミヤジマトンボ、ヒヨウモンモドキの調査や生息地の環境保全活動を行った。	23 件 《内訳》 ミヤジマトンボ 7 件 ヒヨウモンモドキ 16 件

b 生息域内保全

名 称	実施期間	内 容	件 数
生息地における絶滅危惧昆虫の保全	通 年	生息地域における住民との協働により、ギフチョウや水生昆虫の保護活動を行うとともに、地域の活性化を図った。	4 件 《内訳》 安佐北区玖谷 1 件 北広島町芸北橋山 3 件

c 生息域外保全

名 称	実施期間	内 容	実 施 月 等
生息地以外における絶滅危惧昆虫の保全	27年7月 ～28年3月	広島県から委託を受け、「特定野生生物種ミヤジマトンボ」の採卵、孵化、人工飼育、放流を実施するなど、日本の絶滅危惧昆虫の保全に取り組んだ。	調査・採卵 7月・8月 孵化・人工飼育 8月～11月 放流 11月 (放流頭数 230 頭)

d 昆虫に関する調査・研究等

名 称	実施期間(日)	内 容
昆虫相の調査・研究	通 年	広島県、沖縄県などで採集と昆虫相の調査を行い、ゲンゴロウ等の水生甲虫、草原性のチョウ類などの希少昆虫のほか、限定した場所にしか生息しないカマドウマ類など分布上希少な昆虫の生息状況を記録した。また、採集した昆虫を飼育して累代飼育の確立のための研究を行うとともに、採集した昆虫の一部を標本資料として保管した。
各種資料の収集	通 年	昆虫に関する書籍・雑誌・資料を収集し、累代飼育などの調査・研究に役立てた。
研究活動発表会 (動物園・植物園・ 昆虫館共同事業)	28年 2月23日	昆虫館の研究成果を市民に発表する場を設け、継続して研究を行っているゲンゴロウ類の累代飼育の方法のうち、産卵に適した水生植物の選定とその管理方法や、幼虫の成育速度と飼育温度との関係について発表した。(参加者 75人)

(ウ) 教育・普及

a 社会教育への協力

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
講習会・観察会への講師の派遣	通 年	公民館、児童館、その他の公共施設などが実施する昆虫及び自然環境に関する講習会・自然観察会に職員を講師として派遣した。	8件 4,840人
実習生の受け入れ	通 年	大学生等を受け入れて、博物館実習（学芸員実習）を行った。	大学生3人 高校教員1人
大学との連携	通 年	昆虫をテーマとした講師の派遣、情報交換を行った。	12件 306人

b 学校への職員派遣

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
出張自然体験活動	通 年	命の大切さを伝えるため、幼稚園・保育園に職員を派遣し、昆虫とのふれあい体験を行った。	365件 10,043人
総合的な学習時間の支援	通 年	小学校に職員を派遣し、昆虫及び自然環境をテーマとした総合学習の指導を行った。	11件 407人

c 市民・団体との協働

名 称	実施期間（日）	内 容	参加者数
昆虫解説・作業ボランティアの育成	通 年	館内で昆虫解説やふれあい体験活動などに当たるボランティアや、希少昆虫の保護活動、友の会の活動を補助するボランティアを育成し活動内容の充実を図った。 ボランティア総数：14人	活動延べ人数 44人
ボランティアとの共同イベント	通 年	本の読み聞かせなどボランティア主催のイベントを支援した。	活動延べ人数 1人
ハロウィンむしむしおばけやしき（広島市森林公園）	27年10月31日	ハロウィンに合わせた夜間イベントとして、昆虫や森に関するクイズ、パズルゲーム、お菓子の配布、夜の昆虫館探検、びっくりオバケとの出会いやコスプレ体験などを行った。	170人

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
木の実・落ち葉で遊ぼう (広島市森林公園)	27年11月22日 27年11月23日	秋の木の実や落ち葉を使って、人形、しおりや貼り絵などの工作教室を実施した。 (講師:広島県ネイチャーゲーム協会会員)	183人 205人 合計 388人
森林公园で手作りクリスマス (広島市森林公園)	27年12月 5日 27年12月 6日 27年12月20日 27年12月23日	昆虫館では蜜蠍を使ったクリスマスキャンドル作りを、森林公园ではリース作りを行った。	13人 22人 23人 11人 合計 69人
森の七福神めぐり (広島市森林公園)	28年 1月10日 28年 1月11日	森林公园や昆虫館内におめでたい七福神と、それに関連した名前の昆虫や植物を置いたポイントを作り、それを巡ってクイズや課題を解決していくクイズラリーを開催した。	146人 116人 合計 262人
バレンタインイベント (広島市森林公園)	28年 2月11日 28年 2月14日	森林公园内の各所で、職員がカップルの記念写真を撮影するサービスを行った。昆虫館では、パピヨンドーム内で、チョウの集まった花束を持って撮影し、写真をオリジナル写真額に入れてプレゼントした。	166人 50人 合計 216人

d 昆虫館友の会の活動

会員内訳

(個人会員: 5人、家族会員: 20家族 86人)

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
講 習 会 等	27年 6月 7日	農薬がアカトンボに及ぼす影響を調べるために、田の用水路やため池でヤゴの種類構成についての調査を行った。 場所: 東広島市志和町	15人
	27年 9月 5日	昆虫館で開催する「秋の鳴く虫」展で展示するマツムシ、ハヤシノウマオイなどの鳴く虫の採集を行った。 場所: 東区温品町 萩口憩の森	22人
	27年10月 3日	ため池のトンボの種の移り変わりの調査(定点観測調査、7年目)を行った。 場所: 東広島市志和町	15人
	27年11月30日	昆虫を点描画で正確に描くイラストの講習会を行った。 場所: 昆虫館	9人

名 称	実施日・回数	内 容	参加者数等
講 習 会 等	27年12月 6日	11月30日に引き続き、昆虫を点描画で正確に描くイラストの講習会を行った。 場所：昆虫館	14人
	28年 3月 6日	講演会「ゲンゴロウ類の累代飼育技術確立への取り組み②」を開催した。 場所：昆虫館	19人
	28年 3月 6日	(公財)広島市文化財団文化財課の職員を講師に迎えて、火起こし、古代米の試食を体験した。 場所：森林公園内林業体験広場	19人
会 誌 の 発 行	年 1 回	友の会の活動、昆虫に関する知識や話題を載せた会誌「むしむし俱楽部」を発行した。	200冊
野 外 觀 察 会	27年 7月 11日 27年 7月 12日	ホタル類の観察を行った。 場所：北広島町芸北橋山（1泊2日）	21人
	27年 7月 25日	ヒメハルゼミの観察を行った。 場所：安佐北区白木町	15人
	27年 8月 8日	ムカシトンボのヤゴやナベヅタムシなどの水生昆虫の観察を行った。 場所：安佐北区安佐町宇賀町	11人
希少昆虫の生息地 の 環 境 整 備	27年 5月 9日	ギフチョウの産卵数の調査と下草刈りを行った。 場所：安佐北区玖谷埋立地	7人
	27年 5月 23日	ヒヨウモンモドキの生息地の食草保護と雑草刈りを行った。 場所：三原市久井町	9人
	27年 6月 24日	ゲンゴロウ類、ミズカマキリなどの水生昆虫を保護するため、雑草の除去や渓流からの水の引き込みなどを行い、休耕田を半湿地の状態に変える作業を行った。 場所：北広島町芸北橋山	20人
	27年 11月 7日	ヒヨウモンモドキの生息地の雑草刈りを行った。 場所：三原市久井町	5人
	27年 11月 14日	ゲンゴロウ類、ミズカマキリなどの水生昆虫を保護するため、半湿地化した休耕田の雑草等の除去作業を行った。 場所：北広島町芸北橋山	5人

e 観察会その他催し物の開催

(a) コンクール

名 称	実施期間（日）	内 容	参加者数等
ぼくとわたしの むしむしじまん	応募期間 5/1~8/31 作品展示 6/1~8/31	昆虫をテーマとした絵画、工作のコンテストを実施し、優秀作品については表彰状と賞品を郵送した。	応募者数 20人 応募点数 20点 入賞点数 3点
むしむし写真 コンテスト	応募期間 5/1~10/1 作品展示 1/10~2/29 表彰式 1/24	昆虫をテーマとした写真コンテストを実施し、優秀作品を表彰した。	応募者数 91人 応募点数 325点 入賞点数 34点

(b) 観察会

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
虫みつけ! (幼児と保護者対象)	27年 5月24日 (同日2回実施)	ヒメオサムシ、オカダンゴムシ、アゲハチョウの幼虫など足元で見つけられる昆虫や小動物を観察した。	64人
	27年 7月12日 (同日2回実施)	ナミテントウ、オカダンゴムシ、ヨツボシケシキスイなど足元で見つけられる昆虫や小動物を観察した。	53人
季節の虫さがし	27年 5月10日	フキバッタの幼虫、ナミアゲハなど春から初夏の虫の観察を行った。	41人
	27年 7月 5日	ノコギリクワガタ、ミヤマクワガタ、コクワガタなどの夏の虫の観察を行った。	25人
	27年 9月 6日	雨天のため、飼育室で飼育昆虫の紹介と解説、ふれあい体験を行った。	19人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・ 昆虫館共同事業)	27年10月18日	帝釽峡で秋の野鳥、昆虫、植物の観察を行った。 場所:庄原市東城町	72人
昆虫ナイトウォーク	27年 7月19日	夜に活動する昆虫、樹液に集まる昆虫や灯りに集まる昆虫の観察を行った。	77人
	27年 8月 1日		79人

(c) 昆虫教室その他催し物

名 称	実 施 日	内 容	参加者数等
むしむし 折り紙教室	27年 4月 5日 27年 4月12日	幼児や児童と、その保護者を対象に、折り紙でいろいろな昆虫を作る教室を開催した。	152人 580人 合計 732人
	27年 5月16日 27年 5月30日	双眼実体顕微鏡を用いたチョウの鱗粉の観察や、翅の濡れないしくみについての実験を行った。	33人 31人 合計 64人
	27年 6月 6日 27年 6月12日	生きたカイコの観察、餌やり体験、まゆを使った糸繰り体験などを行った。	29人 25人 合計 54人
土曜のムシの日	27年 6月20日 27年 6月27日	カブトムシの飼育方法について、実物を使って解説した。	37人 34人 合計 71人
	27年10月 3日	いろいろなヤゴの生体を観察しながら、体の特徴と生態の関係について解説した。また、ヤゴと関わりの深い水生昆虫の観察も行った。	45人
	27年12月12日 27年12月29日	外国産カブトムシやクワガタムシの標本作り教室を開催した。	29人 34人 合計 63人
むしむし サマースクール	27年 7月18日 27年 8月 1日 27年 8月15日 27年 8月29日	小学生を対象に、昆虫の飼育や夏休みのイベント実施など、昆虫館の仕事を体験できる機会を提供した。	6人 7人 8人 6人 合計 27人
夏 休 み 子 ど も 昆 虫 相 談	27年 7月18日 ~27年 8月31日	夏休みの自由研究の疑問点など、昆虫に関する相談を受けて、助言、指導を行った。	13件
虫 を 食 べ る	27年 9月26日 27年 9月27日	イナゴ、蜂の子、カイコのサナギなどの昆虫を食材とした試食会を行うとともに、日本やアジア各地の伝統的な昆虫食文化を、写真解説パネルや文献を使って紹介した。	270人 450人 合計 720人

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
虫 タ ッ チ !	27年11月 8日 27年11月15日 28年 3月 6日 28年 3月13日 28年 3月20日 28年 3月27日	幼児や児童と、その保護者を対象に、いろいろな昆虫に触れ合える、年齢に合わせた体験イベントを実施した。	186人 304人 111人 223人 551人 360人 合計 1,735人
虫 み く じ	28年 1月 9日 28年 1月10日 28年 1月11日	昆虫を題材にしたおみくじを引いて、一年を占うイベントを行った。	65人 220人 218人 計 503人
虫 絵 馬 を 描 こ う	28年 1月 9日 28年 1月10日 28年 1月11日	昆虫を題材にした絵と願い事を絵馬に書く、工作教室を行った。	65人 146人 218人 合計 429人
ま ゆ 玉 細 工 工 作	28年 1月 9日 28年 1月10日 28年 1月11日 28年 1月16日 28年 1月17日 28年 1月24日 28年 1月30日 28年 1月31日 28年 2月 6日 28年 2月 7日 28年 2月11日 28年 2月13日 28年 2月14日 28年 2月20日 28年 2月21日 28年 2月27日 28年 2月28日 28年 3月 5日 28年 3月12日 28年 3月19日 28年 3月21日 28年 3月26日	まゆ玉を使った自由度の高い工作教室を開催した。	18人 62人 70人 56人 40人 2人 27人 66人 36人 60人 111人 2人 39人 12人 81人 36人 78人 42人 57人 42人 198人 102人 合計 1,237人

名 称	実施期間（日）	内 容	参加者数
山 ま ゆ 門 松 を 飾 ろ う !	28年 1月9日 ～28年 1月17日	昆虫館玄関前に樺の木の門松を設置し、虫絵馬やまゆ玉などを入館者に飾り付けてもらった。	200人
亜熱帯・沖縄県の昆虫	28年 1月24日	昆虫写真家湊和雄氏を講師に迎えて、沖縄に生息する昆虫の生態や特徴、撮影のコツなどに関する講演会を行った。	23人
昆虫館お仕事体験 (寄附者対象)	28年 2月 6日 28年 2月13日	寄附者を対象に、昆虫に関する知識及び昆虫愛護思想の普及を図るために、餌やり、放蝶など、昆虫館の仕事を体験できる機会を提供した。	1家族 4人 1家族 4人 合計 2家族 8人
啓 講 イ ベ ン ト カブトムシの幼虫を 飼 ってみ よ う !	28年 3月 5日	カブトムシの幼虫の飼育方法を説明するとともに、参加者に幼虫を配布した。	10組 32人

f 学校教育活動の受入れ

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
自然体験学習の受入れ	通 年	昆虫の観察や昆虫とのふれあいを目的として、幼稚園・保育園の園児や小・中学校の児童・生徒を受け入れた。	226件 7,408人
職場体験の受入れ	通 年	中学校の職場体験学習に協力し、昆虫館の職場体験を希望する生徒を受け入れた。	1件 3人

g 企画展その他展示会の開催

名 称	実施期間	内 容
春のチョウまつり	27年4月18日 ～27年5月6日	国内外のチョウ約500種類の標本を展示するとともに、広島産及び沖縄産のチョウの卵、幼虫、蛹の生体展示を行った。展示会場の窓から見える場所にチョウの好む草花を植えて、野生のチョウを集めた。また、チョウの翅を使ったしおり作り、チョウとの記念撮影など様々な関連イベントを実施した。
むしむしおえかき展	27年 5月 1日 ～28年 3月31日	保育園・幼稚園の園児が描いた虫の絵を園ごとにまとめて展示了。(1ヶ月ごとに展示替え)
世界のカブト・ クワガタ	27年7月18日 ～27年8月31日	世界のカブトムシ・クワガタムシの生体を展示し、ふれあい体験や記念撮影、カブト・クワガタトルショーアップなどのイベントを実施したほか、「ぼくとわたしのむしむじまん」の応募作品の中からカブトムシ・クワガタムシに関する作品を展示した。
秋の鳴く虫展	27年9月12日 ～27年9月23日	美しい声で鳴く生きた秋の虫を展示した。
広 島 県 の ゲンゴロウ	27年10月10日 ～27年11月8日	広島県で分布が確認された42種類のうち、入手可能な38種類の生体展示を行い、生態や形態の特徴とともに、広島県のゲンゴロウ類の約半数がレッドリストに掲載されていること、生息環境が悪化していることなど、厳しい現状について、写真パネル、文献等を使って紹介した。また、昆虫館職員による講演会を2回行った。
むしむし写真 コンテスト 入賞作品展	28年1月9日 ～28年2月29日	むしむし写真コンテストの入賞作品を展示了。

h 広報普及

名 称	実施期間(日)	内 容	件 数 等
マスコミ広報	通 年	テレビ局・ラジオ局・新聞社・出版社などを通じて、昆虫館の展示や催し物などの広報を行った。	テレビ 5 件 ラジオ 12 件 新聞 7 件 計 24 件
催し物案内ポスター・PR用チラシの配布	通 年	催し物案内ポスターやPR用チラシを作製し、公共施設などに配布した。	ポスター 1,000 か所×1 回 700 か所×2 回 チラシ(新聞折込) 118,000 枚×3 回
ホームページによる広報	通 年	インターネットを通じて、施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を提供した。	アクセス件数 48,123 件
デジタルサイネージによる情報発信	通 年	人通りの多い市内4か所に設置されたデジタルサイネージに施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を提供した。	5 件
ひろしまこども夢財団の携帯電話情報サービスの活用	通 年	(公財)ひろしまこども夢財団の携帯電話情報サービス(会員約2万人)に施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を提供した。	6 件
年間パスポート購入者へのイベント情報の配信	通 年	年間パスポート購入者の携帯電話及びパソコンに催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を配信した。	1 件
オリジナルグッズの配布	通 年	各イベントに合わせ、昆虫カードやシールなど昆虫館オリジナルグッズを配布し、昆虫館のPR及び入館者の増加を図った。	昆虫シール 5,000 枚
マツダスタジアムにおけるPR活動	27年 5月24日	マツダスタジアム内で開催された安佐動物公園のASA ZOO-ZOO広場において、昆虫ふれあい体験及びグッズの販売を行い、昆虫館のPRを行った。	1 件
東映配給映画「アリのままでいたい」との共同PR	27年7月 ~27年8月	映画「アリのままでいたい」と企画展示「世界のかブト・クワガタ」の広告を中国新聞折込情報誌に掲載した(40万戸に配布)。また、「世界のかブト・クワガタ」のポスターを、広島バート11に掲示するとともに、イオンモール広島府中のイベント参加者に配布した。	2 件

i 出版物の発行

名 称	内 容	配布部数
「標本の作り方」 「飼ってみよう」	標本の作り方や身近な昆虫の飼い方を分かりやすく解説した リーフレットを作製し、昆虫に関する知識の普及を図った。	1,500 部 3,000 部

j 昆虫に関する相談

名 称	実施期間	内 容	件 数
昆 虫 相 談	通 年	昆虫の飼育相談、昆虫の生態の質問など、 昆虫に関する相談を受けて助言指導した。	881 件

② 収益事業等

ア 売店の運営など [収1事業]

(ア) 安佐動物公園等における売店の運営など

指定管理者として指定された次の施設の利用者の利便を図るため、売店、食堂などの経営を行った。

営業場所	内容
安佐動物公園	売店(2か所)における土産物などの販売 食堂(1か所)における飲食物の販売 喫茶(1か所)における飲食物の販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 ベビーカーの賃貸 コインロッカーの賃貸 電動スクーターの賃貸
植物公園	売店(1か所)における土産物などの販売 売店(1か所)における植物などの販売 食堂(1か所)における飲食物の販売 喫茶(1か所)における飲食物の販売 臨時売店(3か所)における植物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 コインロッカーの賃貸 電動スクーターの賃貸 観光望遠鏡の賃貸
昆虫館	売店(1か所)における土産物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 コインロッカーの賃貸
中央公園(ファミリープール)	食堂(1か所)における飲食物の販売 売店(1か所)における飲食物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 浮輪の賃貸
中央公園(定期観光バス等駐車場) 大芝公園(交通ランド)	自動販売機による清涼飲料水などの販売

(イ) 公益目的事業への繰入れ

緑のまちづくり事業、動物公園事業、植物公園事業、昆虫館事業等の推進を図るため、売店の運営等で得た収益を公益目的事業に繰り入れた。

イ 公園及び公園施設の管理運営〔他1事業〕

広島市から指定（期間：平成26年4月1日～平成30年3月31日）を受けたファミリープールの入園料などの収受及び管理運営、中央公園の維持管理、交通ランド（大芝公園）のゴーカート使用料の収納事務及び維持管理並びに安佐動物公園及び植物公園の駐車料の収受及び駐車場の管理運営を行い、入園者及び利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、中央公園では、樹木及び被爆施設を活用して、樹木に関する知識の普及や平和について学ぶ機会を提供し、ファミリープールでは、幼児や児童、青少年の心身の健全な発達を図るため、水泳教室を開催した。

(ア) 中央公園（ファミリープールを含む）及び交通ランドの管理運営

a 入園料などの収受及びゴーカート使用料の収納事務

(a) ファミリープール（利用料金制）

【入園状況】

区分			入園者数	使用料	
有料入園者	個人	大人	18歳以上 65歳未満	780円	
		大人	65歳以上	340円	
		小人	小中・高校生及び18歳未満	340円	
	団体	大人	18歳以上 65歳未満	640円	
		大人	65歳以上	270円	
		小人	小中・高校生及び18歳未満	270円	
小計			87,558人	48,006,910円	
減免等入園者（障害者、その他）			30,562人	0円	
合計			118,120人	48,006,910円	

【コインロッカー利用状況】

区分	利用回数	使用料
ロッカー利用（100円）	48,043回	4,804,300円

(b) 交通ランド

【利用状況】

区分			利用台数	使用料
ゴーカート	個人	1人乗り(1台1回100円)	24,773台	2,477,300円
		2人乗り(1台1回150円)	39,655台	5,948,250円
	団体	1人乗り(1台1回80円)	23台	1,840円
		2人乗り(1台1回120円)	242台	29,040円
	減免利用者 (高齢者、その他)	1人乗り(—)	423台	0円
		2人乗り(—)	6,776台	0円
合計			71,892台	8,456,430円

b 利用促進

名称	実施期間(日)	内容	参加者数等
交通ランドゴーカート運休日の運行	27年4月27日	ゴールデンウィーク期間中のゴーカート運休日に運行し、利用者に対するサービスの向上を図った。	利用台数 215台
ファミリープール優待利用券の発行	27年5月28日 ～27年6月30日	入園券に園内の売店・食堂で使える割引券をセットにした優待利用券を発行・販売し、新たな顧客の獲得に努めた。	販売枚数 2,197枚 利用枚数 1,300枚
ファミリープールポイントカードの発行	27年7月1日 ～27年8月31日	所定の利用回数に達した場合、次回の入園料を免除するポイントカードを発行し、リピーターの確保を図った。	配布枚数 33,590枚 達成枚数 908枚
ファミリープールイベント開催	27年7月29日 27年7月31日 27年8月5日 27年8月7日 27年8月19日 27年8月21日	ゲーム大会を開催し、利用者に対するサービスの向上を図った。	1日3回 18回
ファミリープール休園日の開園	27年8月6日	開園期間中の休園日を開園し、利用者に対するサービスの向上及び入園者の増加を図った。	入園者数 1,912人

c 施設の維持管理・園内サービス

名 称	実施期間	内 容
施設の維持管理	通 年	利用者に安全・快適な利用環境を提供するため、園内の清掃・警備などを行った。また、プール管理棟などの建物、機械・電気などの設備やゴーカートを良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	利用者が快適に施設を利用できるよう、標識、リーフレットや園内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
交通ランドにおける広島市の交通安全行政への協力	通 年	交通安全教室やチャイルドシート取付講習など広島市が企画・実施する事業に協力した。
ファミリープール涼感サービスの提供	27年7月1日 ～27年8月31日	暑さ対策として、入園ゲート前と園内にミストファンを置き、入園者が涼しさを感じられるサービスを提供した。

(イ) 安佐動物公園及び植物公園の駐車場の管理運営

a 駐車料の收受 (利用料金制)

(a) 安佐動物公園

【利用状況】

区 分	台 数	使 用 料
中・大型自動車 (1, 380円)	1, 320 台	1, 821, 600 円
普通自動車 (450円)	117, 367 台	52, 815, 150 円
減 免 利 用	1, 599 台	0 円
合 計	120, 286 台	54, 636, 750 円

(b) 植物公園

【利用状況】

区 分	台 数	使 用 料
中・大型自動車 (1, 380円)	198 台	273, 240 円
普通自動車 (450円)	48, 292 台	21, 731, 400 円
減 免 利 用	1, 522 台	0 円
合 計	50, 012 台	22, 004, 640 円

b 施設の維持管理

名 称	実施期間	内 容
施設の維持管理	通 年	利用者に安心・安全な利用環境を提供するため、駐車場内及び進入路における交通誘導や警備などを行った。また、立体駐車場などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。

(ウ) 中央公園（ファミリープールを含む）における教育・普及

a 水泳教室その他催し物の開催

名 称	実 施 日	内 容	参加者数等
中 央 公 園 樹名板づくり教室	27年 5月24日	中央公園樹木の樹名板の作製や設置を行う子どもを募り、作業を通じて樹木について楽しく学ぶ場を提供した。また、この手作りの樹名板により公園利用者の関心を引き、樹木への理解や知識を深めた。	86人
ファミリープール 体験水泳教室	27年 7月21日 27年 7月28日 27年 8月 4日 27年 8月18日	親子を対象に、泳ぎ方や指導方法の基礎などを体験し、習得する場を提供した。また、救助する方法、救助される方法について実技を行った。	97組 194人
中央公園における 平 和 学 習	27年 10月16日	市民を対象に、中央公園内にある中国軍管区司令部跡（被爆した旧防空作戦室）で、戦争体験者が当時の悲惨な状況を説明した。	24人

b 広報普及

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
インターネット・ ホームページ広報 (6ページの公益目的事業に重複記載)	通 年	インターネットを通じて、施設の紹介や催し物などの情報を提供した。	アクセス件数 150,726件
マスコミ広報	通 年	テレビ局・新聞社・出版社などを通じて、催し物などの広報を行った。	テレビ 19件 新聞 3件 情報誌等 11件 計 33件
ポスター広告及び PR用チラシの配布	27年5月27日 ～27年8月31日	公共交通機関発着駅などにおいて、ファミリープールのポスター広告を行った。また、PR用チラシを作製し、公共施設などを通じて配布した。	ポスター 670か所 チラシ 334か所

(2) 無償使用貸借資産

事業を実施するに当たって、広島市から無償使用貸借している資産は次のとおりである。

(平成28年3月31日現在)

名 称	所 在 地	区 分	現 在 高
安佐動物公園	安佐北区安佐町大字 動物園	建 物	食堂及び軽食・喫茶等(厨房を除く) 387.79m ²
植物公園	佐伯区倉重三丁目 495番地	建 物	食堂等(厨房を除く) 429.68m ²

7 事業報告の附属明細書

記載すべき事項はありません。

決 算 報 告 書

第2 決算報告書

平成27年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会決算報告書
(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

1 貸借対照表

貸 借 対 照 表

平成28年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	351,027,304	325,044,392	25,982,912
未収金	1,954,357	3,726,183	△ 1,771,826
商品	5,393,840	6,236,542	△ 842,702
切手		25,105	△ 25,105
流動資産合計	358,375,501	335,032,222	23,343,279
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	112,000,000	112,000,000	0
基本財産合計	112,000,000	112,000,000	0
(2) 特定資産			
緑化基金積立資産	413,634,328	413,634,328	0
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000	3,000,000	0
退職給付引当資産	26,605,836	25,339,695	1,266,141
減価償却引当資産	21,634,236	20,246,036	1,388,200
備品等購入資金積立資産	1,452,606	1,452,606	0
みどり生きものサポーター募金積立資産	636,184	337,076	299,108
施設の魅力づくり事業資金積立資産	1,500,000		1,500,000
特定資産合計	468,463,190	464,009,741	4,453,449
(3) その他固定資産			
建物	1,490,000	1,490,000	0
建物減価償却累計額	△ 1,489,998	△ 1,489,998	0
構築物	2,764,650	2,764,650	0
構築物減価償却累計額	△ 860,108	△ 675,799	△ 184,309
車両運搬具	6,683,207	6,683,207	0
車両運搬具減価償却累計額	△ 5,784,230	△ 5,483,897	△ 300,333
器具備品	20,198,911	19,106,931	1,091,980
器具備品減価償却累計額	△ 16,470,248	△ 15,475,541	△ 994,707
電話加入権	74,984	74,984	0
投資有価証券	87,172	60,730	26,442
その他固定資産合計	6,694,340	7,055,267	△ 360,927
固定資産合計	587,157,530	583,065,008	4,092,522
資産合計	945,533,031	918,097,230	27,435,801

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	90,259,785	132,080,896	△ 41,821,111
未払消費税等	18,568,200		18,568,200
未払法人税等	3,328,400	5,934,500	△ 2,606,100
前受金	409,000	394,000	15,000
買掛金	8,350,457	9,055,127	△ 704,670
預り金	11,330,076	11,250,738	79,338
賞与引当金	28,577,246	26,871,483	1,705,763
流動負債合計	160,823,164	185,586,744	△ 24,763,580
2. 固定負債			
退職給付引当金	400,093,385	391,256,859	8,836,526
固定負債合計	400,093,385	391,256,859	8,836,526
負債合計	560,916,549	576,843,603	△ 15,927,054
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
広島市出資金	503,600,000	503,600,000	0
寄付金	636,184	337,076	299,108
指定正味財産合計	504,236,184	503,937,076	299,108
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(404,236,184)	(403,937,076)	(299,108)
2. 一般正味財産	△ 119,619,702	△ 162,683,449	43,063,747
(うち基本財産への充当額)	(12,000,000)	(12,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(37,621,170)	(34,732,970)	(2,888,200)
正味財産合計	384,616,482	341,253,627	43,362,855
負債及び正味財産合計	945,533,031	918,097,230	27,435,801

2 貸借対照表内訳表

貸 借 対 照 表 内 訳 表
平成 28 年 3 月 31 日 現 在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	158,377,040	166,407,137	26,243,127		351,027,304
未収金	520,907	1,433,450			1,954,357
未収消費税等	1,200,644		885,652	△ 2,086,296	0
商品		5,393,840			5,393,840
流動資産合計	160,098,591	173,234,427	27,128,779	△ 2,086,296	358,375,501
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
投資有価証券	112,000,000				112,000,000
基本財産合計	112,000,000				112,000,000
(2) 特定資産					
緑化基金積立資産	413,634,328				413,634,328
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000				3,000,000
退職給付引当資産		26,605,836			26,605,836
減価償却引当資産	804,338	20,829,898			21,634,236
備品等購入資金積立資産		1,452,606			1,452,606
みどり生きものサポーター募金積立資産	636,184				636,184
施設の魅力づくり事業資金積立資産	1,500,000				1,500,000
特定資産合計	419,574,850	48,888,340			468,463,190
(3) その他固定資産					
建物		1,490,000			1,490,000
建物減価償却累計額		△ 1,489,998			△ 1,489,998
構築物		2,764,650			2,764,650
構築物減価償却累計額		△ 860,108			△ 860,108
車両運搬具	1,703,310	4,979,897			6,683,207
車両運搬具減価償却累計額	△ 804,338	△ 4,979,892			△ 5,784,230
器具備品	4,115,380	16,083,531			20,198,911
器具備品減価償却累計額	△ 2,970,348	△ 13,499,900			△ 16,470,248
電話加入権		74,984			74,984
投資有価証券	87,172				87,172
その他固定資産合計	2,131,176	4,563,164			6,694,340
固定資産合計	533,706,026	53,451,504			587,157,530
資産合計	693,804,617	226,685,931	27,128,779	△ 2,086,296	945,533,031
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	50,588,141	13,321,007	26,350,637		90,259,785
未払消費税等	14,482,691	6,171,805		△ 2,086,296	18,568,200
未払法人税等		3,328,400			3,328,400
前受金	409,000				409,000
買掛金		8,350,457			8,350,457
預り金	7,795,883	2,756,252	777,941		11,330,076
賞与引当金	24,323,596	2,372,118	1,881,532		28,577,246
流動負債合計	97,599,311	36,300,039	29,010,110	△ 2,086,296	160,823,164
2. 固定負債					
退職給付引当金	338,029,736	26,605,836	35,457,813		400,093,385
固定負債合計	338,029,736	26,605,836	35,457,813		400,093,385
負債合計	435,629,047	62,905,875	64,467,923	△ 2,086,296	560,916,549
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
広島市出資金	503,600,000				503,600,000
寄付金	636,184				636,184
指定正味財産合計	504,236,184				504,236,184
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)				(100,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(404,236,184)				(404,236,184)
2. 一般正味財産	△ 246,060,614	163,780,056	△ 37,339,144		△ 119,619,702
(うち基本財産への充当額)	(12,000,000)				(12,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(15,338,666)	(22,282,504)			(37,621,170)
正味財産合計	258,175,570	163,780,056	△ 37,339,144		384,616,482
負債及び正味財産合計	693,804,617	226,685,931	27,128,779	△ 2,086,296	945,533,031

3 正味財産増減計算書

正 味 財 産 増 減 計 算 書
平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	100,250	935,668	△ 835,418
基本財産受取利息振替額	835,418		835,418
特定資産運用益			
緑化基金受取利息	91,916	3,455,308	△ 3,363,392
緑化基金受取利息振替額	3,363,392		3,363,392
協会賞基金受取利息	16,708	25,062	△ 8,354
協会賞基金受取利息振替額	8,354		8,354
引当資産等受取利息	117,000	105,000	12,000
受取会費			
会員受取会費	936,500	985,500	△ 49,000
事業収益			
利用料金収益	300,751,980	285,282,840	15,469,140
指定管理料収益	992,530,691	980,586,397	11,944,294
維持補修業務等受託収益	28,407,779	19,664,974	8,742,805
保護増殖業務受託収益	416,280	411,480	4,800
売店等売上収益	200,858,130	187,038,261	13,819,869
売店等事業収益	24,561,956	21,495,767	3,066,189
実費徴収金収益	2,562,738	3,000,319	△ 437,581
手数料収益	104,115	88,867	15,248
使用料収益	3,904,770	3,598,635	306,135
受取補助金等			
受取協会運営等補助金	89,880,604	78,912,326	10,968,278
受取動物管理助成金	644,417	672,220	△ 27,803
受取動物保護活動等助成金	428,000	300,000	128,000
受取負担金			
受取負担金	2,218,427	2,121,650	96,777
受取寄付金			
受取寄付金	23,000	5,146,379	△ 5,123,379
受取寄付金振替額	358,920	19,860	339,060
受取協賛金			
受取協賛金	1,000,000	1,150,000	△ 150,000
雑収益			
受取利息	50	36	14
雑収益	3,644,406	2,696,360	948,046
流動負債取崩益			
賞与引当金取崩益		96,134	△ 96,134
固定負債取崩益			
退職給付引当金取崩益	3,142,300	6,057,306	△ 2,915,006
経常収益計	1,660,908,101	1,603,846,349	57,061,752

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(2) 経常費用			
事業費			
給料	206,420,466	195,980,076	10,440,390
諸手当	175,612,593	173,578,012	2,034,581
報酬	118,733,175	117,387,450	1,345,725
賞与引当金繰入	26,695,714	25,032,009	1,663,705
災害補償費	372,942		372,942
賃金	90,951,721	89,727,175	1,224,546
退職給付費用	8,266,871	1,627,919	6,638,952
福利厚生費	104,492,254	101,864,409	2,627,845
退職共済掛金	216,000	216,000	0
仕入費	95,243,981	86,493,494	8,750,487
食糧費	159,193	162,688	△ 3,495
諸謝金	4,073,860	4,947,810	△ 873,950
諸会費	785,720	808,272	△ 22,552
報償費	545,289	633,177	△ 87,888
旅費	3,801,955	2,911,268	890,687
通信運搬費	3,629,891	3,597,272	32,619
減価償却費	1,568,284	1,704,900	△ 136,616
消耗什器備品費	954,171	810,044	144,127
消耗品費	110,446,090	107,691,160	2,754,930
器具備品購入費	151,200	340,600	△ 189,400
車両運搬具購入費	1,490,400		1,490,400
原材料費	1,429,500	1,065,608	363,892
委託料	271,462,561	273,815,900	△ 2,353,339
修繕費	39,207,529	44,959,377	△ 5,751,848
工事請負費	11,586,240		11,586,240
燃料費	20,193,506	32,782,859	△ 12,589,353
光熱水費	126,458,128	138,885,675	△ 12,427,547
手数料	2,489,645	1,426,335	1,063,310
使用料及び賃借料	12,710,690	13,186,133	△ 475,443
保険料	2,309,380	2,934,512	△ 625,132
租税公課費	62,995,396	58,464,720	4,530,676
負担金	1,568,985	1,571,316	△ 2,331
補助金	574,000	656,900	△ 82,900
協賛金	50,000	50,000	0
広報費	2,016,786	2,156,915	△ 140,129
商品開発費	93,423	54,799	38,624
雑費		12,720	△ 12,720
支払利息	2,062,903		2,062,903
指定管理納付金	7,334,570	7,201,550	133,020
指定管理返還金		98,990	△ 98,990
固定資産除却損		7,206	△ 7,206

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
給料	16,765,200	16,995,000	△ 229,800
諸手当	13,995,079	13,352,138	642,941
報酬	11,022,624	10,767,360	255,264
賞与引当金繰入	1,881,532	1,839,474	42,058
賃金	5,274,088	4,974,908	299,180
退職給付費用	22,837,527	9,847,449	12,990,078
福利厚生費	7,369,884	7,291,364	78,520
退職共済掛金	260,000	252,000	8,000
会議費	157,010	136,830	20,180
諸謝金	638,000	428,000	210,000
諸会費	291,840	459,292	△ 167,452
報償費	4,536	4,536	0
旅費	128,320	167,840	△ 39,520
通信運搬費	920,660	933,856	△ 13,196
消耗品費	1,133,255	951,053	182,202
委託料	1,108,182	728,717	379,465
手数料	109,154	96,334	12,820
使用料及び賃借料	10,796,955	10,881,659	△ 84,704
負担金	591,931	613,464	△ 21,533
協賛金	40,000	140,000	△ 100,000
経常費用計	1,614,480,789	1,575,706,524	38,774,265
評価損益等調整前当期経常増減額	46,427,312	28,139,825	18,287,487
当期経常増減額	46,427,312	28,139,825	18,287,487
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定負債取崩益			
退職給付引当金取崩益		28,623	△ 28,623
経常外収益計	0	28,623	△ 28,623
(2) 経常外費用			
固定資産除却損			
器具備品除却損	35,165		35,165
固定資産譲渡損			
車両運搬具譲渡損		1,365,000	△ 1,365,000
経常外費用計	35,165	1,365,000	△ 1,329,835
当期経常外増減額	△ 35,165	△ 1,336,377	1,301,212
税引前当期一般正味財産増減額	46,392,147	26,803,448	19,588,699
法人税、住民税及び事業税	3,328,400	5,934,500	△ 2,606,100
当期一般正味財産増減額	43,063,747	20,868,948	22,194,799
一般正味財産期首残高	△ 162,683,449	△ 183,552,397	20,868,948
一般正味財産期末残高	△ 119,619,702	△ 162,683,449	43,063,747

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	835,418	835,418	0
特定資産運用益			
緑化基金受取利息	3,363,392	3,363,392	0
協会賞基金受取利息	8,354	8,354	0
受取寄付金			
受取寄付金	658,028	356,936	301,092
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 4,566,084	△ 4,227,024	△ 339,060
当期指定正味財産増減額	299,108	337,076	△ 37,968
指定正味財産期首残高	503,937,076	503,600,000	337,076
指定正味財産期末残高	504,236,184	503,937,076	299,108
Ⅲ 正味財産期末残高	384,616,482	341,253,627	43,362,855

正 味 財 産 増 減 計 算 書 内 訳 表
平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益										
基本財産受取利息		100,250		100,250						100,250
基本財産受取利息振替額	83,542	751,876		835,418						835,418
特定資産運用益										
緑化基金受取利息	91,916			91,916						91,916
緑化基金受取利息振替額	3,363,392			3,363,392						3,363,392
協会賞基金受取利息	16,708			16,708						16,708
協会賞基金受取利息振替額	8,354			8,354						8,354
引当資産等受取利息					117,000		117,000			117,000
受取会費										
会員受取会費		936,500		936,500						936,500
事業収益										
利用料金収益		171,299,380		171,299,380		129,452,600	129,452,600			300,751,980
指定管理料収益		822,274,000		822,274,000		170,256,691	170,256,691			992,530,691
維持補修業務等受託収益		26,965,979		26,965,979		1,441,800	1,441,800			28,407,779
保護増殖業務受託収益		416,280		416,280						416,280
売店等売上収益					200,858,130		200,858,130			200,858,130
売店等事業収益					24,006,194	555,762	24,561,956			24,561,956
実費徴収金収益					2,562,738		2,562,738			2,562,738
手数料収益					104,115		104,115			104,115
使用料収益					3,904,770		3,904,770			3,904,770
受取補助金等								89,880,604		
受取協会運営等補助金									89,880,604	
受取動物管理助成金		644,417		644,417						644,417
受取動物保護活動等助成金		428,000		428,000						428,000
受取負担金										
受取負担金	177,500	2,040,927		2,218,427						2,218,427
受取寄付金										
受取寄付金		23,000		23,000						23,000
受取寄付金振替額		358,920		358,920						358,920
受取協賛金										
受取協賛金		1,000,000		1,000,000						1,000,000
雑収益										
受取利息	4	46		50						50
雑収益	89,635	1,030,880	137,021	1,257,536	953,005	548,213	1,501,218	885,652		3,644,406
固定負債取崩益										
退職給付引当金取崩益		3,142,300		3,142,300						3,142,300
経常収益計	3,831,051	1,031,412,755	137,021	1,035,380,827	232,505,952	302,255,066	534,761,018	90,766,256		1,660,908,101

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
(2) 経常費用										
事業費										
給料		194,384,466		194,384,466	12,036,000		12,036,000			206,420,466
諸手当		159,025,159	7,565,282	166,590,441	8,332,484	689,668	9,022,152			175,612,593
報酬		84,947,816		84,947,816	13,912,318	19,873,041	33,785,359			118,733,175
賞与引当金繰入		23,135,633	1,187,963	24,323,596	1,611,116	761,002	2,372,118			26,695,714
災害補償費		372,942		372,942						372,942
賃金		54,924,389		54,924,389	26,590,836	9,436,496	36,027,332			90,951,721
退職給付費用		7,000,730		7,000,730	1,266,141		1,266,141			8,266,871
福利厚生費		87,909,914	5,239,560	93,149,474	6,587,723	4,755,057	11,342,780			104,492,254
退職共済掛金					216,000		216,000			216,000
仕入費					95,243,981		95,243,981			95,243,981
食糧費		159,193		159,193						159,193
諸謝金	261,000	3,764,860		4,025,860		48,000	48,000			4,073,860
諸会費		707,520		707,520	78,200		78,200			785,720
報償費		545,289		545,289						545,289
旅費		3,574,275		3,574,275	227,680		227,680			3,801,955
通信運搬費	49,670	3,181,942	32,001	3,263,613	126,770	239,508	366,278			3,629,891
減価償却費		91,149	283,884	375,033	1,193,251		1,193,251			1,568,284
消耗什器備品費		252,706		252,706	701,465		701,465			954,171
消耗品費	1,034,154	100,854,725	78,742	101,967,621	5,691,612	2,786,857	8,478,469			110,446,090
器具備品購入費		151,200		151,200						151,200
車両運搬具購入費		1,490,400		1,490,400						1,490,400
原材料費		1,293,500		1,293,500		136,000	136,000			1,429,500
委託料	48,600	128,838,775		128,887,375	1,719,635	140,855,551	142,575,186			271,462,561
修繕費		21,501,709		21,501,709	1,497,991	16,207,829	17,705,820			39,207,529
工事請負費		11,586,240		11,586,240						11,586,240
燃料費		19,810,997	15,714	19,826,711	34,776	332,019	366,795			20,193,506
光熱水費		79,582,019		79,582,019	6,366,540	40,509,569	46,876,109			126,458,128
手数料	15,822	1,905,600	648	1,922,070	326,909	240,666	567,575			2,489,645
使用料及び賃借料		7,892,122	3,340	7,895,462	3,720,653	1,094,575	4,815,228			12,710,690
保険料		1,207,124	12,560	1,219,684	359,646	730,050	1,089,696			2,309,380
租税公課費		48,963,842	39,500	49,003,342	8,467,059	5,524,995	13,992,054			62,995,396
負担金	1,100,000	434,978		1,534,978	34,007		34,007			1,568,985
補助金	574,000			574,000						574,000
協賛金		50,000		50,000						50,000
広報費		1,848,036		1,848,036	168,750		168,750			2,016,786
商品開発費					93,423		93,423			93,423
支払利息		566,950		566,950	6,308	1,489,645	1,495,953			2,062,903
指定管理納付金		6,690,610		6,690,610		643,960	643,960			7,334,570

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
管理費								16,765,200		16,765,200
給料								13,995,079		13,995,079
諸手当								11,022,624		11,022,624
報酬								1,881,532		1,881,532
賞与引当金繰入								5,274,088		5,274,088
賃金								22,837,527		22,837,527
退職給付費用								7,369,884		7,369,884
福利厚生費								260,000		260,000
退職共済掛金								157,010		157,010
会議費								638,000		638,000
諸謝金								291,840		291,840
諸会費								4,536		4,536
報償費								128,320		128,320
旅費								920,660		920,660
通信運搬費								1,133,255		1,133,255
消耗品費								1,108,182		1,108,182
委託料								109,154		109,154
手数料								10,796,955		10,796,955
使用料及び賃借料								591,931		591,931
負担金								40,000		40,000
協賛金										
経常費用計	3,083,246	1,058,646,810	14,459,194	1,076,189,250	196,611,274	246,354,488	442,965,762	95,325,777		1,614,480,789
評価損益等調整前当期経常増減額	747,805	△ 27,234,055	△ 14,322,173	△ 40,808,423	35,894,678	55,900,578	91,795,256	△ 4,559,521		46,427,312
当期経常増減額	747,805	△ 27,234,055	△ 14,322,173	△ 40,808,423	35,894,678	55,900,578	91,795,256	△ 4,559,521		46,427,312
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計										0
(2) 経常外費用										
固定資産除却損										
器具備品除却損					0	35,165		35,165		35,165
経常外費用計		0		0	35,165		35,165			35,165
当期経常外増減額		0		0	△ 35,165		△ 35,165			△ 35,165
他会計振替額	714,197	23,552,000	19,285,803	43,552,000	△ 28,058,000	△ 16,298,000	△ 44,356,000	804,000		0
税引前当期一般正味財産増減額	1,462,002	△ 3,682,055	4,963,630	2,743,577	7,801,513	39,602,578	47,404,091	△ 3,755,521		46,392,147
法人税、住民税及び事業税					3,328,400		3,328,400			3,328,400
当期一般正味財産増減額	1,462,002	△ 3,682,055	4,963,630	2,743,577	4,473,113	39,602,578	44,075,691	△ 3,755,521		43,063,747
一般正味財産期首残高	65,997,632	△ 310,353,540	△ 4,448,283	△ 248,804,191	129,389,246	△ 9,684,881	119,704,365	△ 33,583,623		△ 162,683,449
一般正味財産期末残高	67,459,634	△ 314,035,595	515,347	△ 246,060,614	133,862,359	29,917,697	163,780,056	△ 37,339,144		△ 119,619,702

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
II 指定正味財産増減の部										
基本財産運用益										
基本財産受取利息	83,542	751,876		835,418						835,418
特定資産運用益										
緑化基金受取利息	3,363,392			3,363,392						3,363,392
協会賞基金受取利息	8,354			8,354						8,354
受取寄付金										
受取寄付金		658,028		658,028						658,028
一般正味財産への振替額										
一般正味財産への振替額	△ 3,455,288	△ 1,110,796		△ 4,566,084						△ 4,566,084
当期指定正味財産増減額	0	299,108		299,108						299,108
指定正味財産期首残高	413,600,000	90,337,076		503,937,076						503,937,076
指定正味財産期末残高	413,600,000	90,636,184		504,236,184						504,236,184
III 正味財産期末残高	481,059,634	△ 223,399,411	515,347	258,175,570	133,862,359	29,917,697	163,780,056	△ 37,339,144		384,616,482

5 財務諸表に対する注記

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品・・・先入先出法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

貸倒引当金・・・・債権については回収可能性に問題がないため、貸倒引当金は計上していない。

賞与引当金・・・・職員の賞与の支払いに備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上している。

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	112,000,000	—	—	112,000,000
小 計	112,000,000	—	—	112,000,000
特定資産				
緑化基金積立資産	413,634,328	—	—	413,634,328
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000	—	—	3,000,000
退職給付引当資産	25,339,695	1,266,141	—	26,605,836
減価償却引当資産	20,246,036	1,388,200	—	21,634,236
備品等購入資金積立資産	1,452,606	—	—	1,452,606
みどり生きものサポーター募金積立資産	337,076	299,108	—	636,184
施設の魅力づくり事業資金積立資産		1,500,000	—	1,500,000
小 計	464,009,741	4,453,449	—	468,463,190
合 計	576,009,741	4,453,449	—	580,463,190

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に對応する額)
基本財産				
投資有価証券	112,000,000	(100,000,000)	(12,000,000)	(-)
小 計	112,000,000	(100,000,000)	(12,000,000)	(-)
特定資産				
緑化基金積立資産	413,634,328	(402,600,000)	(11,034,328)	(-)
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000	(1,000,000)	(2,000,000)	(-)
退職給付引当資産	26,605,836	(-)	(-)	(26,605,836)
減価償却引当資産	21,634,236	(-)	(21,634,236)	(-)
備品等購入資金積立資産	1,452,606	(-)	(1,452,606)	(-)
みどり生きものサポーター募金積立資産	636,184	(636,184)	(-)	(-)
施設の魅力づくり事業資金積立資産	1,500,000	(-)	(1,500,000)	(-)
小 計	468,463,190	(404,236,184)	(37,621,170)	(26,605,836)
合 計	580,463,190	(504,236,184)	(49,621,170)	(26,605,836)

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
第368回大阪府公募公債	527,821,795	554,347,200	26,525,405
第327回利付国債	899,705	960,300	60,595
合 計	528,721,500	555,307,500	26,586,000

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 受取協会運営等補助金 (広島市補助金)	広島市	0	93,841,000	89,880,604	3,960,396	流動負債(※)
助成金 動物管理助成金 動物保護活動等助成金	(公社)日本動物園水族館協会 (公社)日本動物園水族館協会	0 0	644,417 428,000	644,417 428,000	0 0	
合 計		0	94,913,417	90,953,021	3,960,396	

※ 当該残高は、單年度事業に係る補助金の精算返還金（未払金）である。

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	835,418
特定資産受取利息の振替額	3,371,746
受取寄付金の振替額	358,920
合 計	4,566,084

8. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引内容は、次のとおりである。

(単位：円)

属 法 人 等 の 名 称	住 所	資 産 総 額	事 業 の 内 容 又 は 職 業	議 決 権 の 所 有 割 合	関 係 内 容		取引の内容	取引金額	科目	期末 残 高
					役員の兼務等	事業上の関係				
当法人を支配する法人	広島市	広島市中区	理事15名中 市職員3名 元市職員3名	-	市公共事業の受託	広島市の公園及び公園施設の指定管理	992,677,000	未払金	146,309	
						広島市の公園及び公園施設の維持補修等	28,407,779	—	0	
					協会事業に対する補助	協会運営事業に対する補助	93,841,000	未払金	3,960,396	

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

剰余金が生じた場合において、指定管理については毎年度又は指定管理期間満了時に精算を行い返還することとし、受託及び補助については毎年度精算を行い返還することとしている。上表の「期末残高」欄の金額は、広島市への精算返還金（未払金）である。

6 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の「3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」において記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	26,871,483	28,577,246	26,871,483	—	28,577,246
退職給付引当金	391,256,859	11,978,826	3,142,300	—	400,093,385

財 産 目 錄

平成28年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使 用 目 的 等	金 額
(流動資産)				
	現金 預金	手元保管 普通預金 広島銀行本店営業部 広島銀行安支店 広島銀行五日市八幡支店 広島銀行福田支店 ゆうちょ銀行日浦郵便局 ゆうちょ銀行広島城山郵便局 ゆうちょ銀行広島馬木郵便局 売店業務等委託先業者ほか 広島東税務署 オリジナルグッズ他	運転資金として 運転資金として	9,474,175 117,096,682 116,307,790 96,686,519 10,537,353 439,995 316,818 167,972 1,954,357 来園者等への販売用
	振替口座		運転資金として	5,393,840
	未収金 未収消費税等 商品		販売手数料等 消費税及び地方消費税還付金	
流動資産合計				358,375,501
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	第368回大阪府公募公債	満期保有目的で保有し、運用益を動物公園事業等の財源として使用している。	112,000,000
特定資産	緑化基金積立資産	投資有価証券 第368回大阪府公募公債	満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業の財源として使用している。	412,736,000
	広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	第327回利付国債 投資有価証券 第368回大阪府公募公債	同上	898,328
	退職給付引当資産	普通預金 広島銀行安支店 定期預金 広島銀行安支店 広島市信用組合安支店 広島県信用組合安古市支店 普通預金 広島銀行本店営業部 広島銀行安支店 広島銀行五日市八幡支店 広島銀行福田支店 定期預金 広島銀行安支店 広島市農業協同組合あさひが丘支店 普通預金 広島銀行安支店 定期預金 広島銀行安支店 普通預金 広島銀行安支店 定期預金 広島銀行安支店 普通預金 広島銀行安支店 普通預金 広島銀行安支店 普通預金 広島銀行五日市八幡支店 広島銀行福田支店 普通預金 広島銀行本店営業部	満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業の財源として使用している。 収益事業従事職員に対する退職金の支払いに備え管理している預金	3,000,000 1,605,836 5,000,000 10,000,000 10,000,000 804,338 1,828,144 4,710,204 291,550 4,000,000 10,000,000 452,606 1,000,000 534,066 61,486 40,632 魅力度ある施設づくりのための寄付金を管理している預金
	備品等購入資金積立資産			
	みどり生きものサポート募金積立資産			
	施設の魅力づくり事業資金積立資産			
その他固定資産				
	建物 構築物 車両運搬具 器具備品 電話加入権 投資有価証券	植物公園 溫室及び倉庫 62.3 m ² 安佐動物公園 仮設売店 9.7 m ² 普通乗用車 1台 小型貨物等 3台、スクーター 2台 デジタルカメラ等 21点 冷蔵庫等 71点 安佐動物公園 管理事務所 第368回大阪府公募公債 第327回利付国債	収益事業における販売用植物の展示・保管用 収益事業における飲食物販売用 公益目的事業用車両運搬具 収益事業用車両運搬具 公益目的事業用器具備品 収益事業用器具備品 収益事業に係る電話回線（1回線） 満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業等の財源として使用している。 同上	2 1,904,542 898,972 5 1,145,032 2,583,631 74,984 85,795 1,377
固定資産合計				587,157,530
資産合計				945,533,031

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	維持管理業務等委託先業者ほか 広島東税務署	委託料等の未払額	90,259,785
	未払消費税等	広島東税務署	平成27年度消費税及び地方消費税の未払額	18,568,200
	未払法人税等	広島東税務署	平成27年度法人税等の未払額	3,328,400
	前受金	広島動物愛好会等会員	平成28年度分前受会費	409,000
	買掛金	商品仕入先業者	売店等における商品仕入れの買掛額	8,350,457
	預り金	広島東税務署、厚生労働省年金局、 広島市等	源泉所得税、健康保険料及び厚生年金保険 料、住民税等	11,330,076
	賞与引当金	職員に対するもの	職員115名に対する賞与の支払いに備え たもの	28,577,246
流動負債合計				160,823,164
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員57名に対する退職金の支払いに備え たもの	400,093,385
固定負債合計				400,093,385
負債合計				560,916,549
正味財産				384,616,482

監査報告書

平成28年5月16日

公益財団法人広島市みどり生きもの協会
理事長 竹内 功 様

公益財団法人広島市みどり生きもの協会
監事 神田 敏治
公益財団法人広島市みどり生きもの協会
監事 藤田 悟

私たち監事は、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上のことに基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上